

介護労働の現状について

平成25年度介護労働実態調査

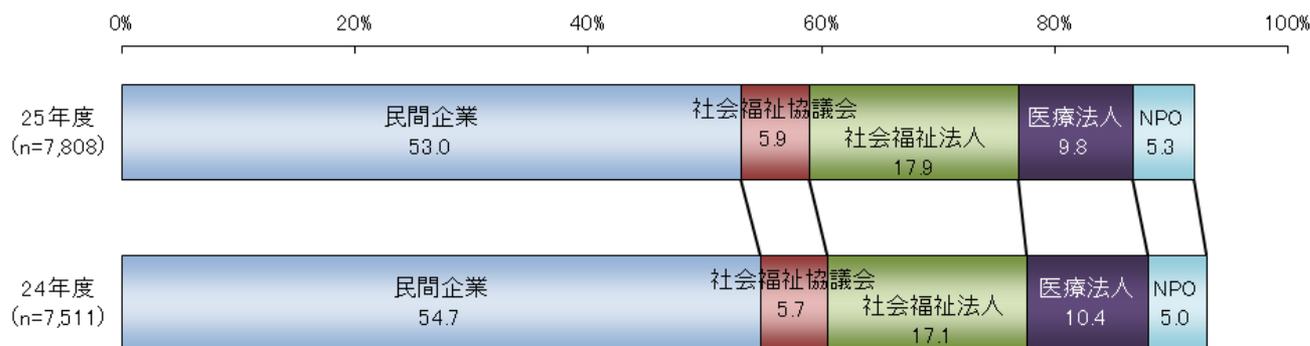
H26. 8. 11



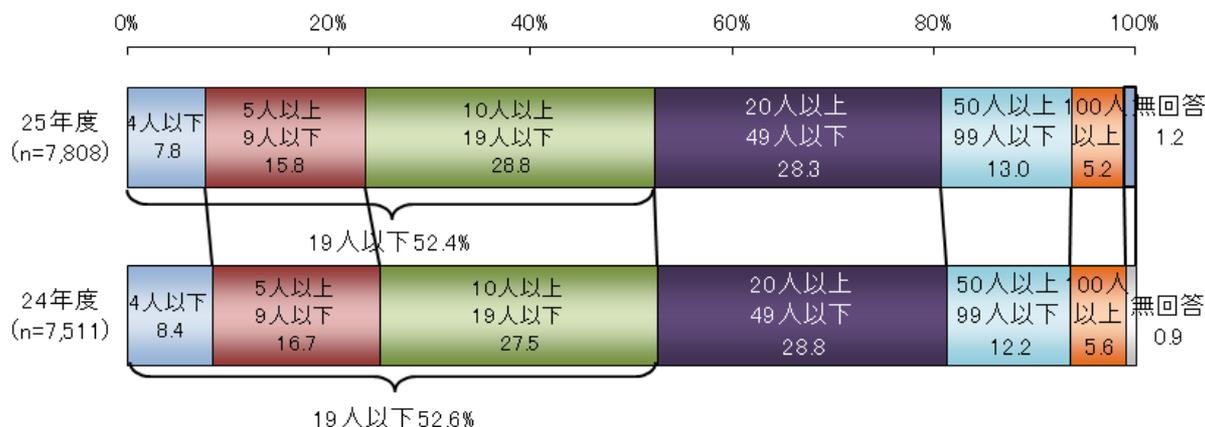
公益財団法人 介護労働安定センター

I 平成25年度の調査回答事業所の特徴 (24年度調査と比較して)

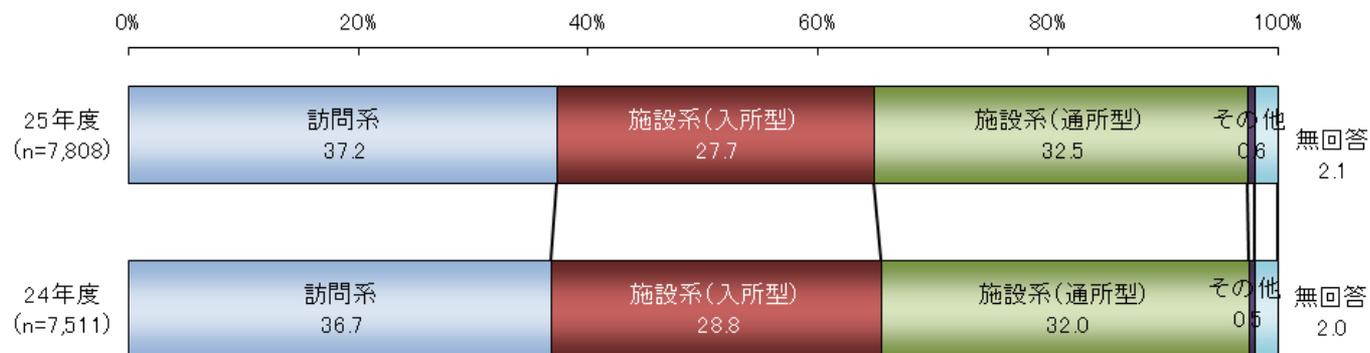
1 経営主体構成比較…… 民間企業が減少、社会福祉法人が増加



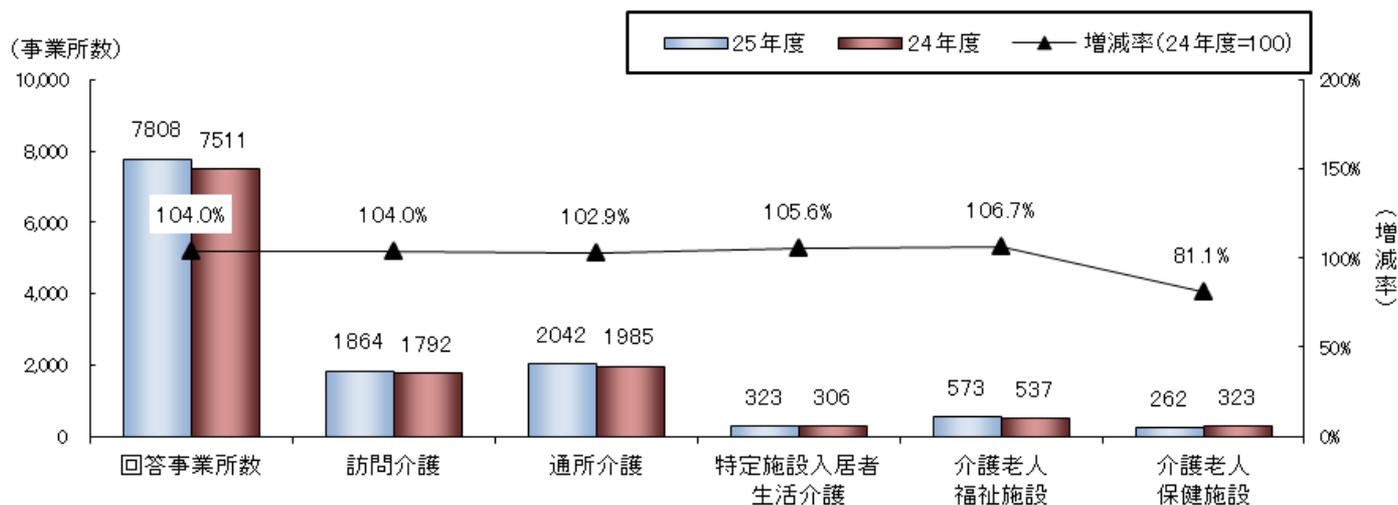
2 従業員規模別比較…… 49人以下、100人以上は減少



3 介護サービス系型別比較・・・訪問系が増加、施設系が減少

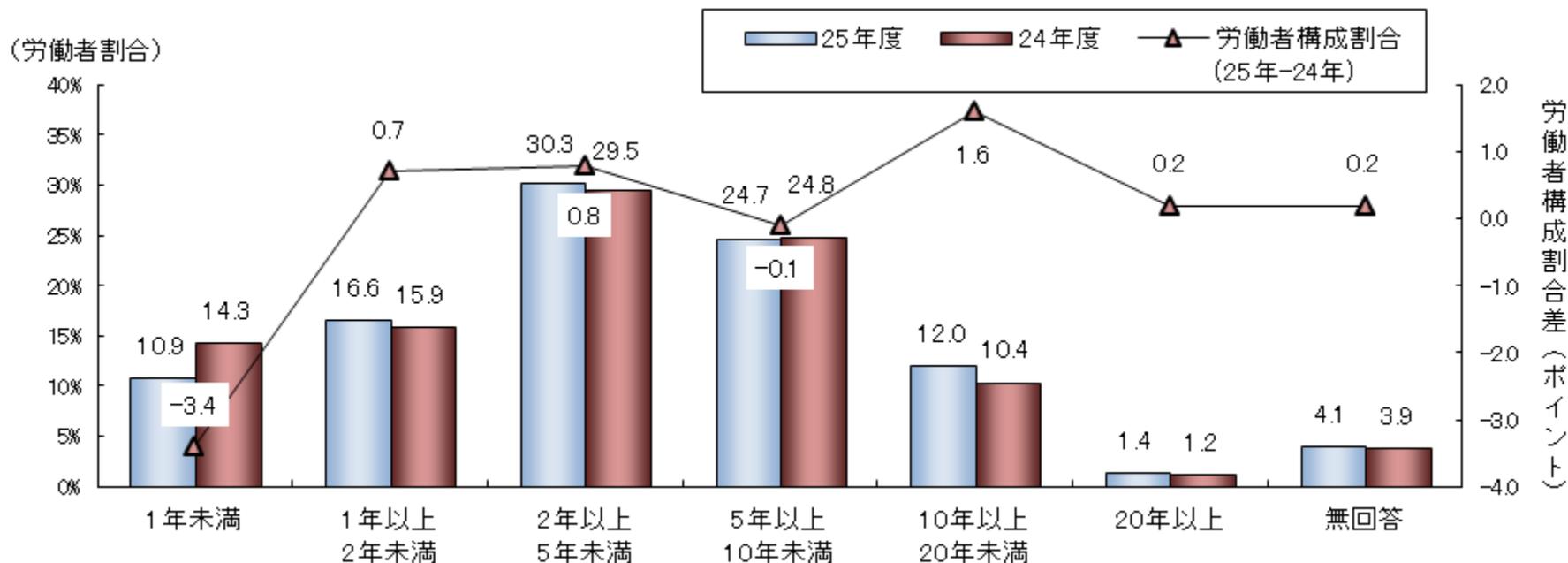


4 介護サービス別回答事業所数別比較・・・全体は増加、介護老人保健施設が減少



5 勤続年数別個別回答労働者構成比較

1年以上2年未満、2年以上5年未満、10年以上20年未満の割合が増加

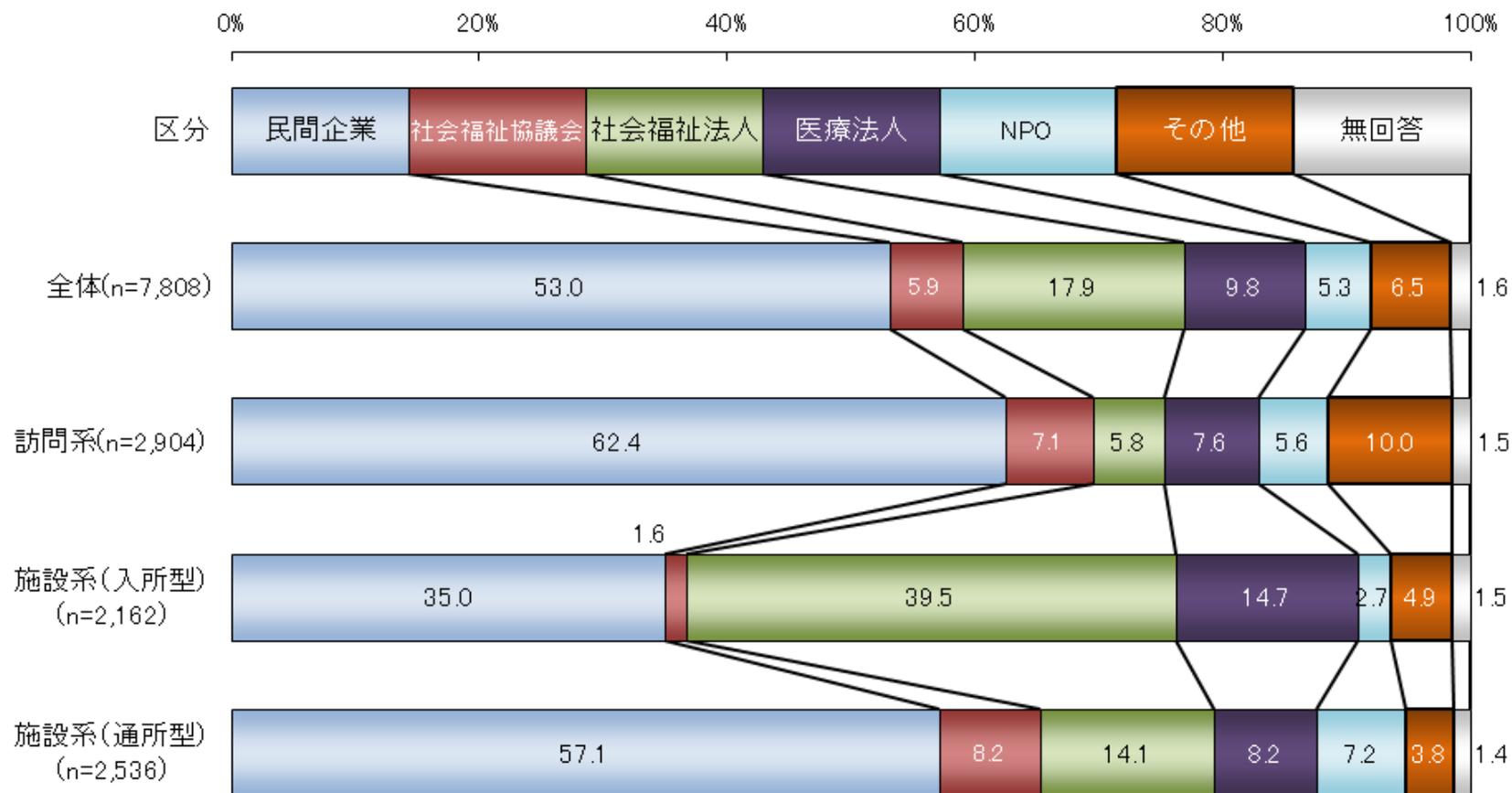


比較する際には回答事業所の属性、回答労働者の属性等の構成要因を十分に考慮して行う必要がある。

II 法人・事業所の概況

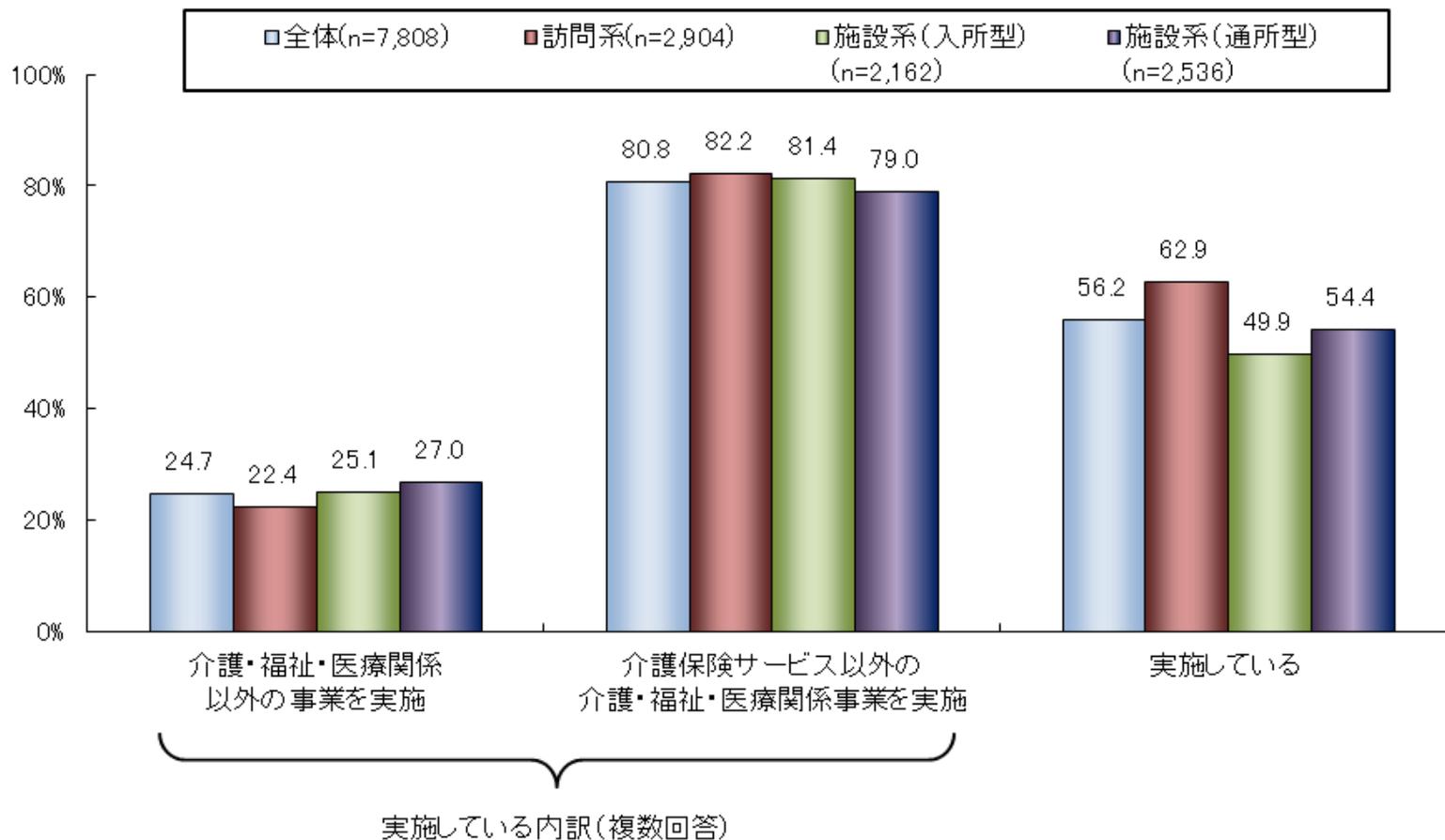
1 事業所の経営主体

訪問系、施設系(通所型)は民間、施設系(入所型)は社会福祉法人の割合が多い



2 介護保険サービス以外の事業の実施状況

法人の半数前後が介護保険サービス以外の事業を実施

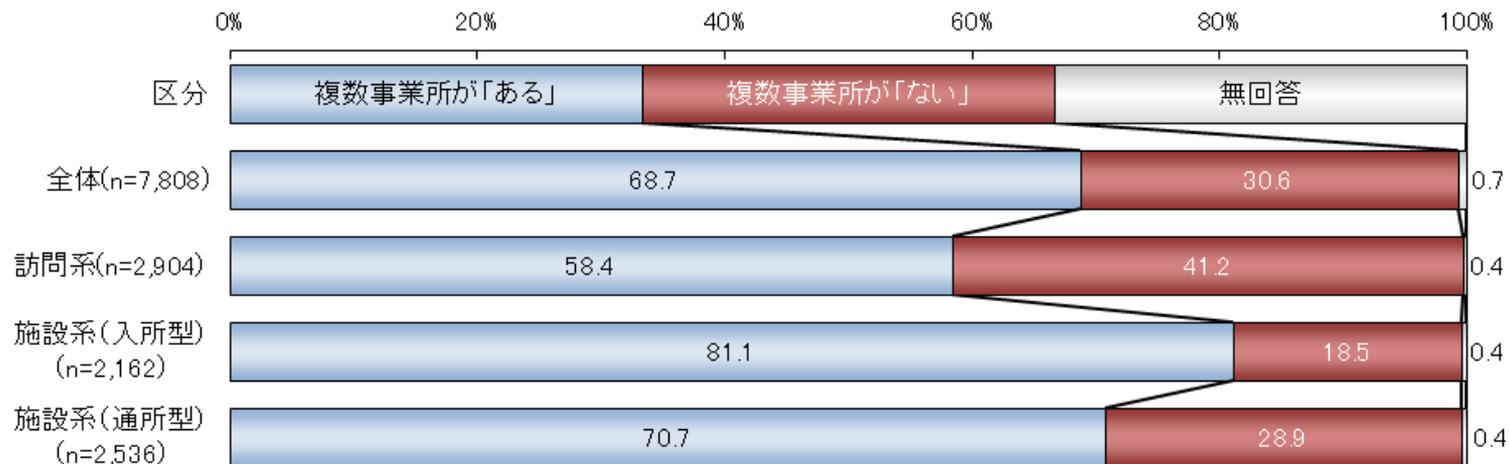


3 複数事業所の有無

(1) 複数事業所の有無

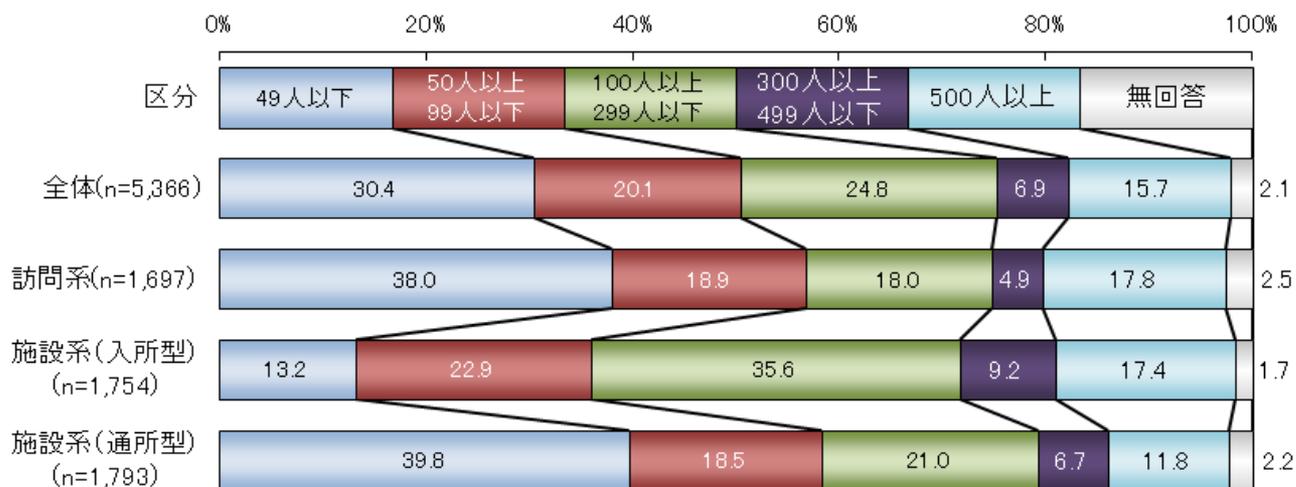
複数事業所がある法人の割合が約69%

施設系は複数事業所の割合が訪問系と比較して高い



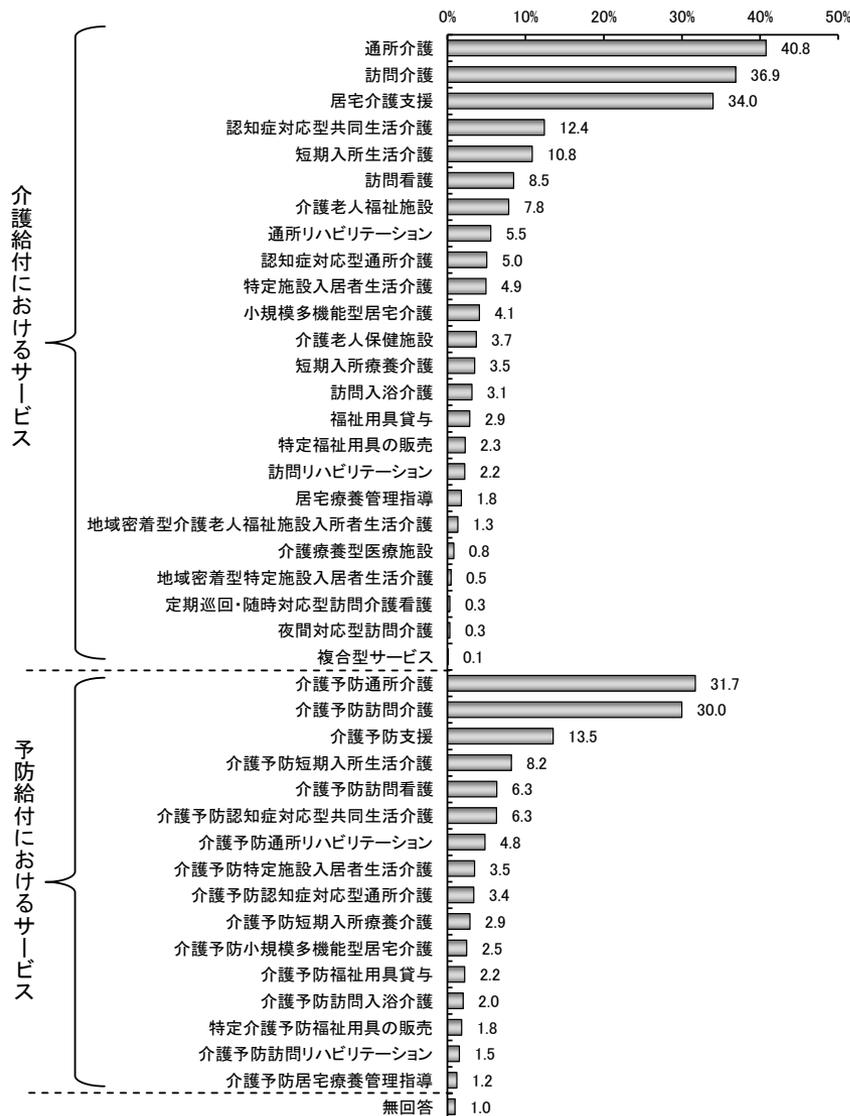
(2) 法人全体の従業員数規模

全体の約30%が49人以下の法人



4 実施している介護サービスの種類(複数回答)

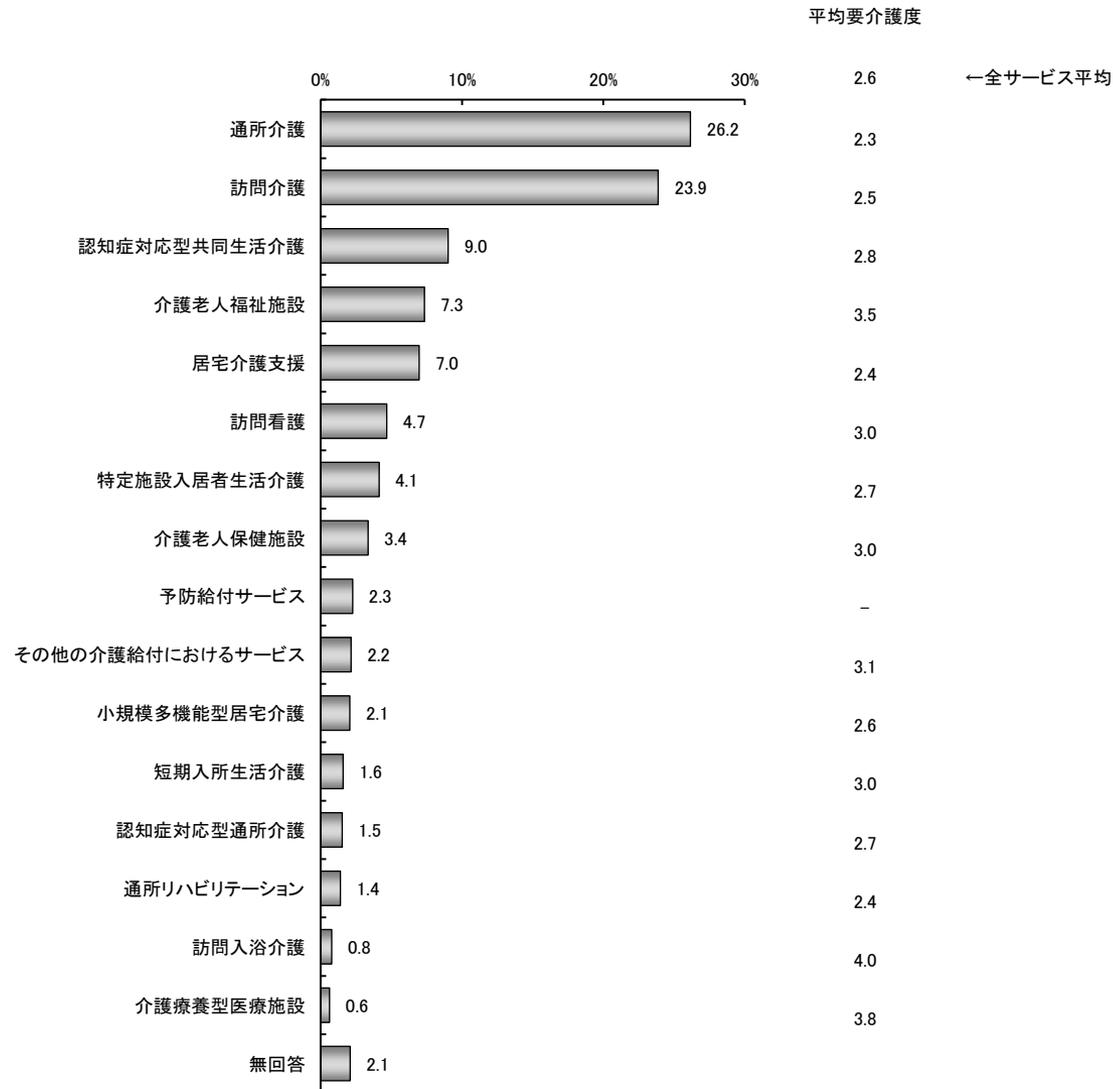
通所介護、訪問介護、居宅介護支援の割合が高い



定員数 (人)	9月1ヶ月の利用者数 (延べではなく実人数)
24.4人	56.5人
-	37.9人
-	66.8人
15.4人	-
16.0人	44.2人
-	49.4人
70.6人	-
38.7人	71.9人
11.1人	30.0人
53.8人	-
23.7人	20.1人
90.0人	-
43.6人	22.6人
-	31.4人
-	104.6人
-	16.4人
-	31.4人
-	53.3人
27.5人	-
61.5人	-
22.4人	-
-	9.9人
-	26.9人
19.7人	22.3人
24.1人	20.7人
-	18.4人
-	30.3人
16.4人	4.5人
-	7.8人
15.0人	-
37.7人	20.7人
54.7人	-
11.1人	7.3人
52.5人	3.5人
22.8人	4.7人
-	35.3人
-	4.7人
-	6.2人
-	4.9人
-	6.1人

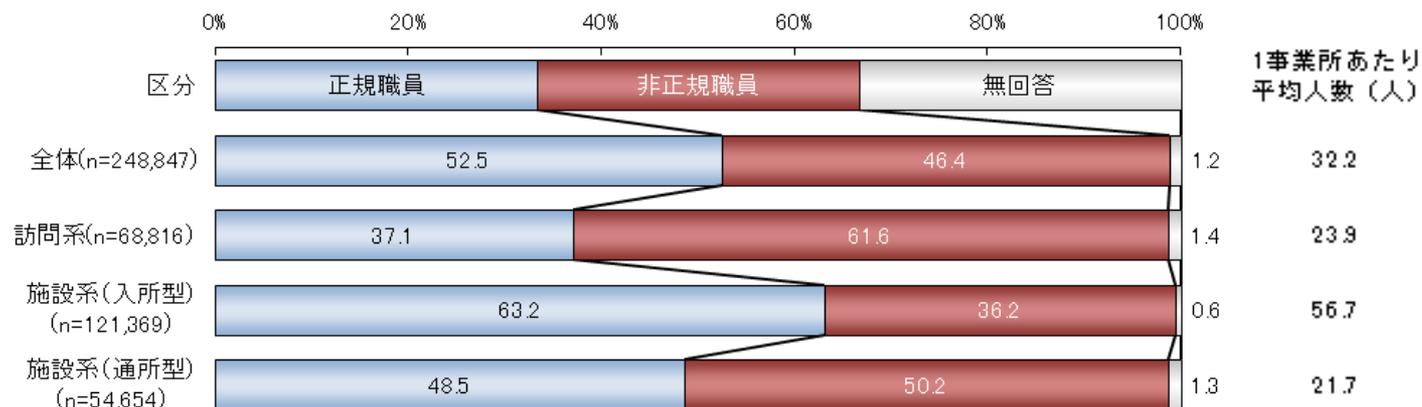
5 主とする介護サービスの種類(最も事業収入の多い介護サービス)

通所介護と訪問介護を主とする事業者が全体の半数

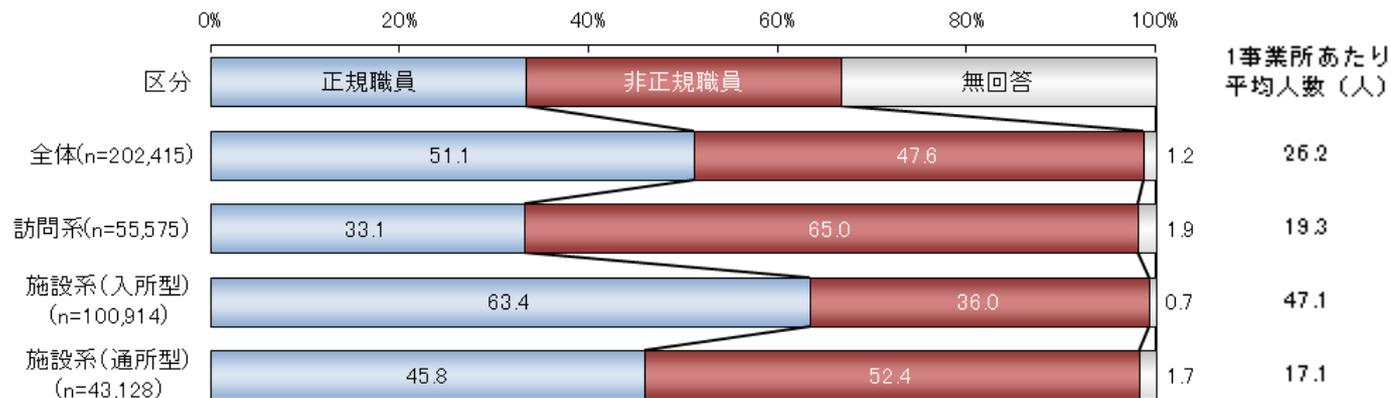


6 事務職等を含む従業員の就業形態

(1) 全従業員の就業形態 施設系(入所型)の正規職員比率は約63%



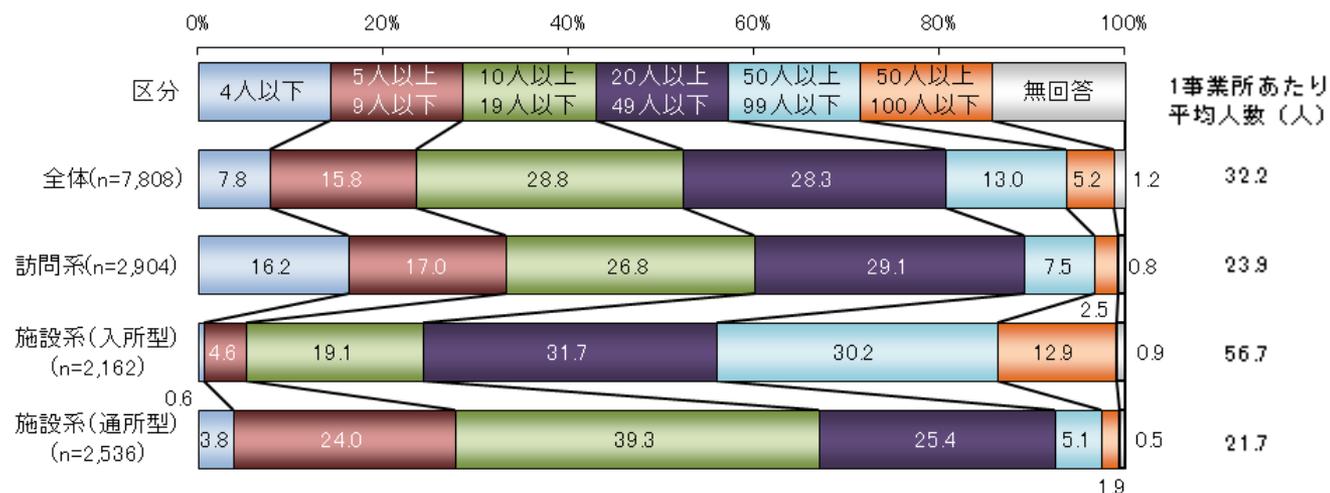
(2) 上記のうち介護サービス従事者の就業形態 訪問系の65%が非正規職員



6 事務職等を含む従業員の就業形態

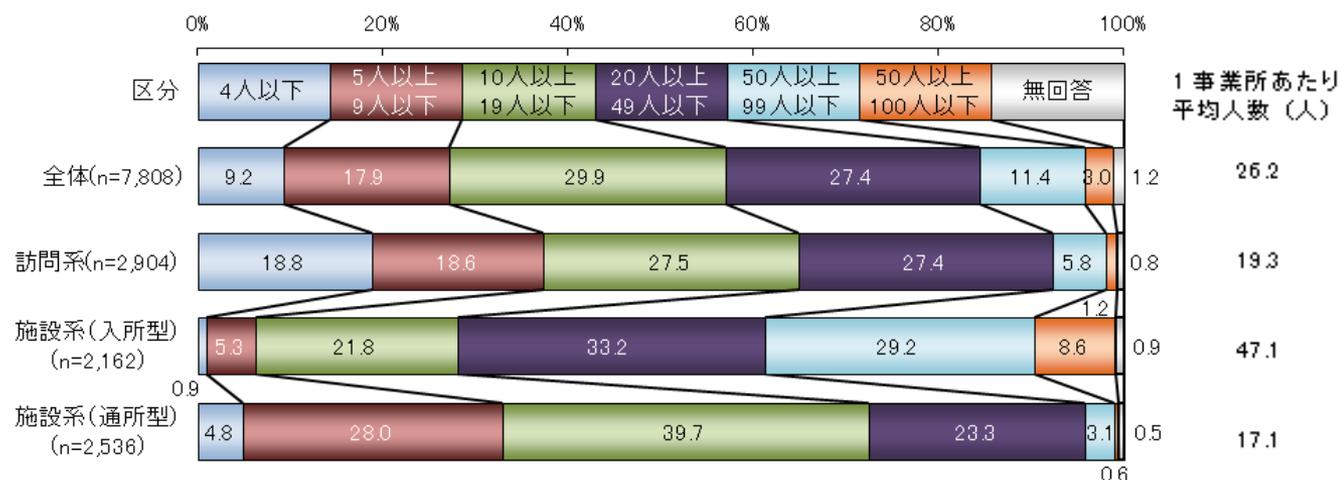
(3) 事業所(事務職等を含む)の規模

訪問系の約9割が49人以下



(4) 事業所(介護サービス従事者のみ)の規模

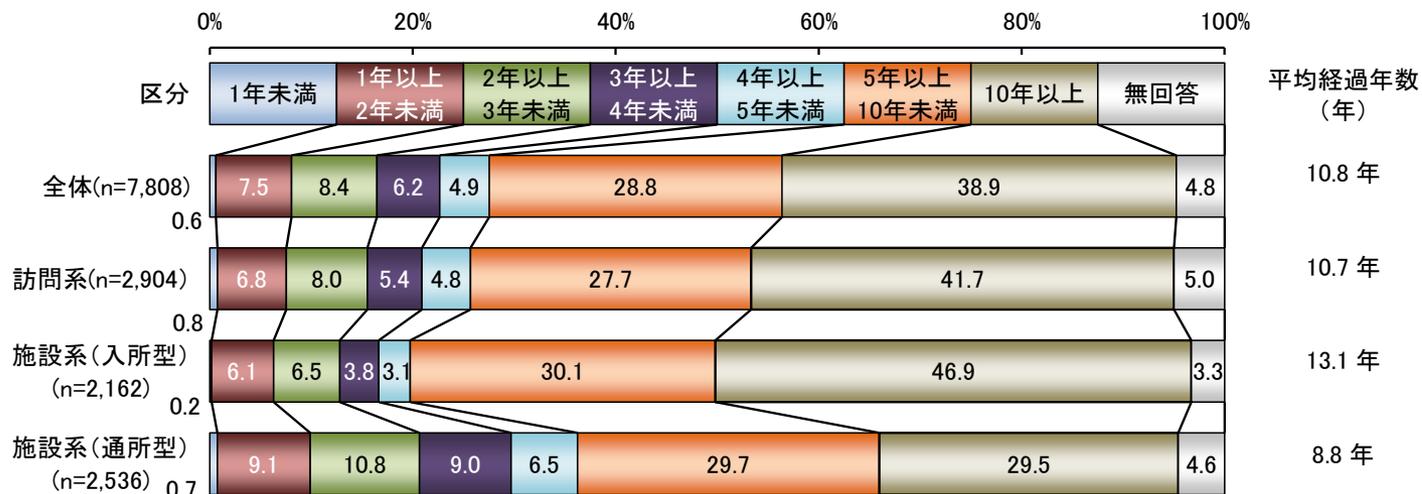
訪問系の約9割が49人以下



7 介護事業の経過年数

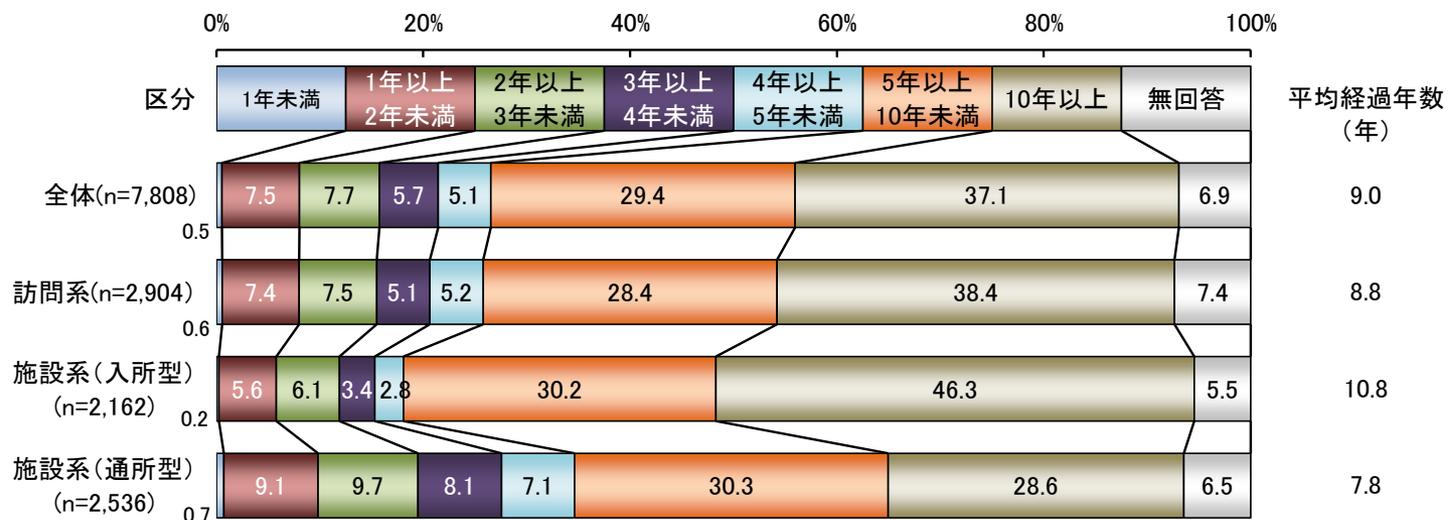
(1) 事業所の開始後経過年数

平均10.8年 約56%が10年未満



(2) 介護事業の開始後経過年数

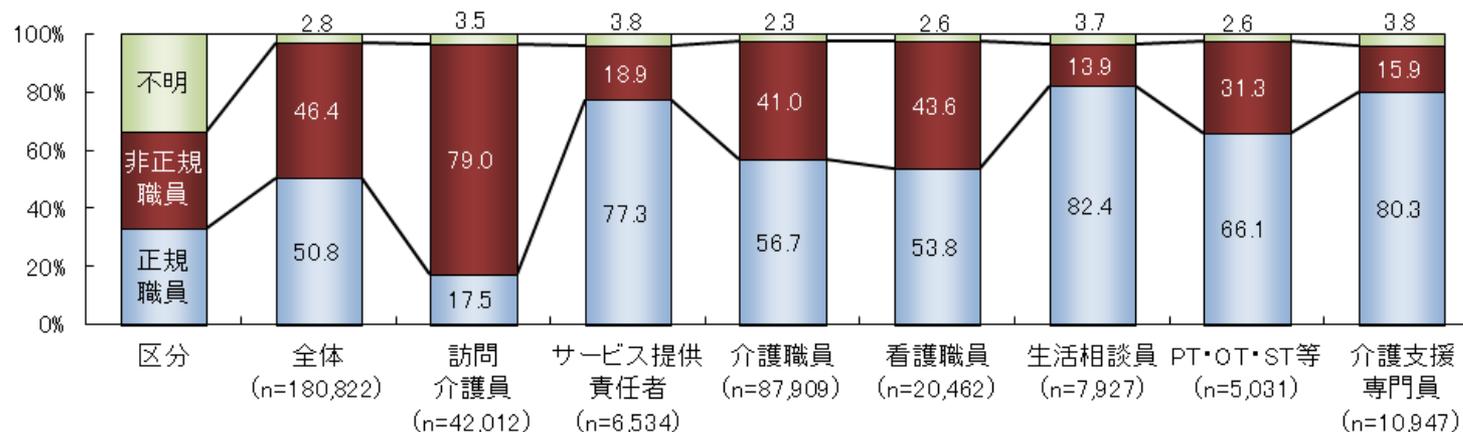
平均9.0年 約56%が10年未満



8 職種別従業員数

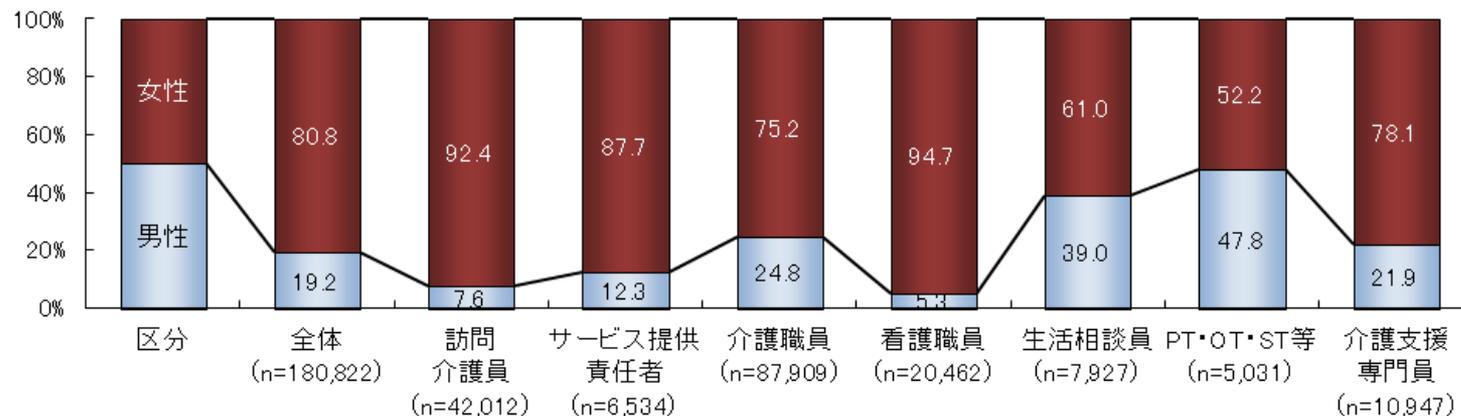
(1) 介護職の正規・非正規職員割合

訪問介護員の79%が非正規職員



(2) 介護職の男女比率

訪問介護員の90%以上が女性 全体でも約80%が女性

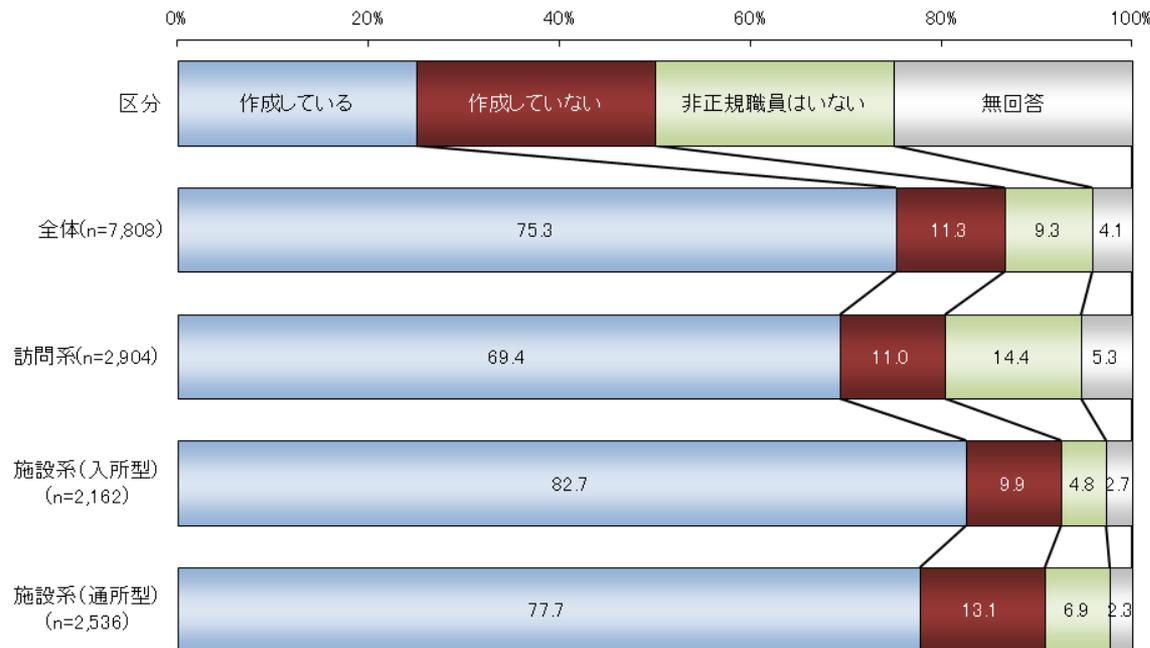


Ⅲ 雇用管理の状況

1 就業規則・労働条件の明示

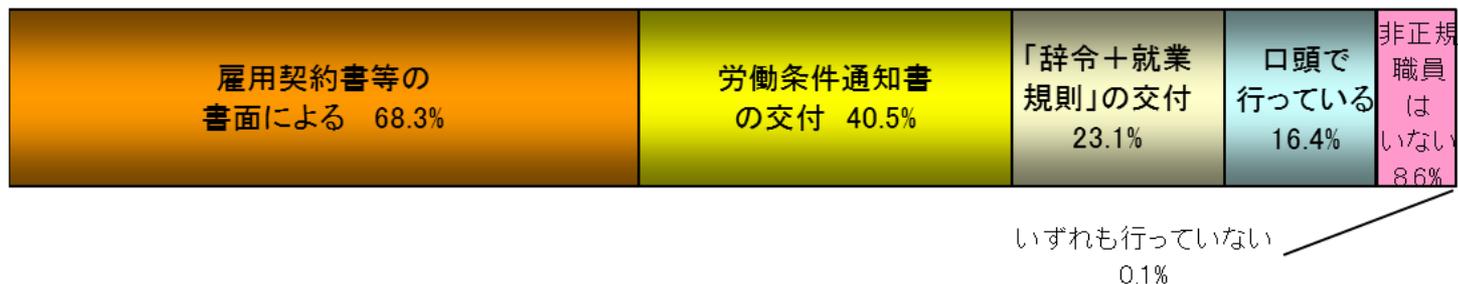
(1) 非正規職員を対象とした就業規則の作成

全体では約75%が作成



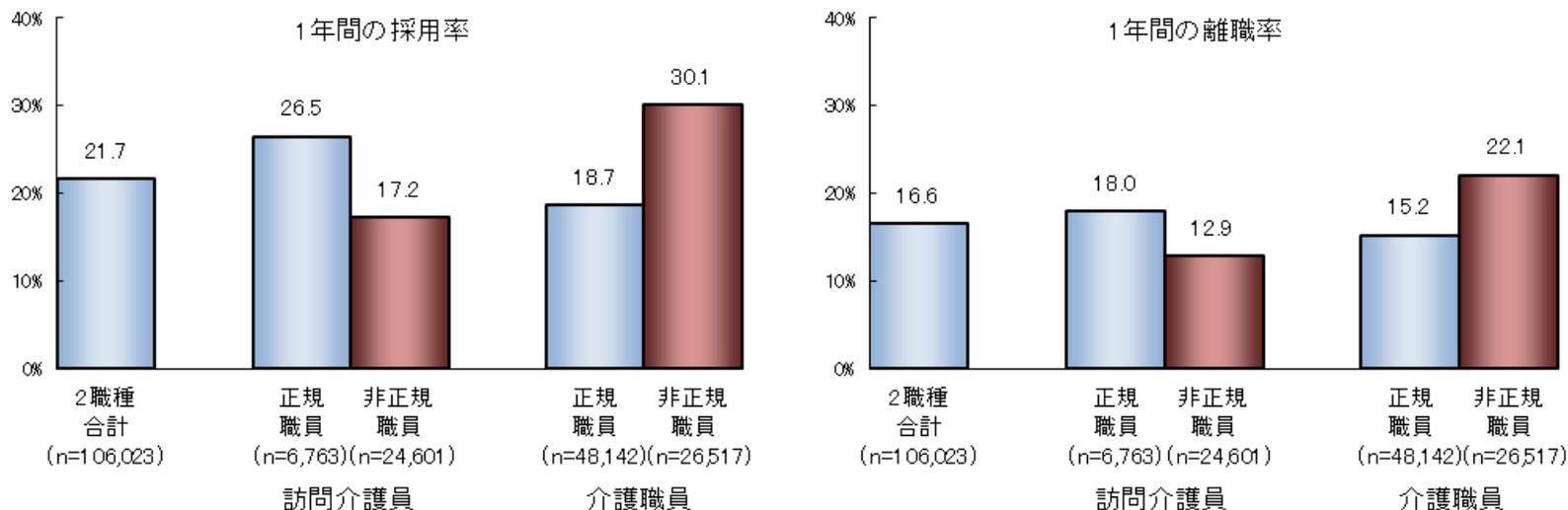
(2) 非正規職員の採用時の労働条件の明示

約68%は雇用契約書等の書面による



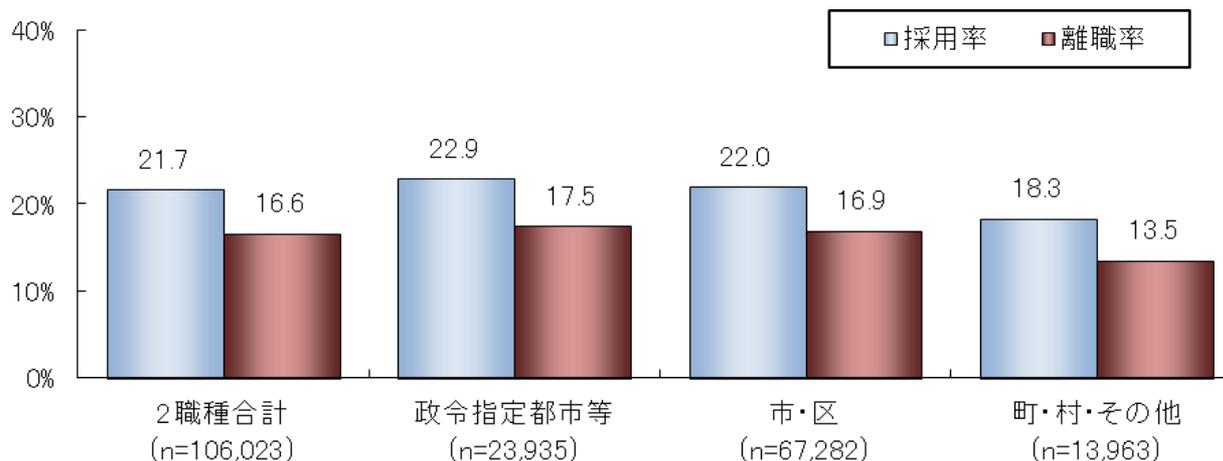
2 訪問介護員、介護職員の採用・離職の状況(平成24年10月1日～25年9月30日)

(1) 就業形態別 採用率・離職率 介護職員(非正規)の採用率、離職率が高い



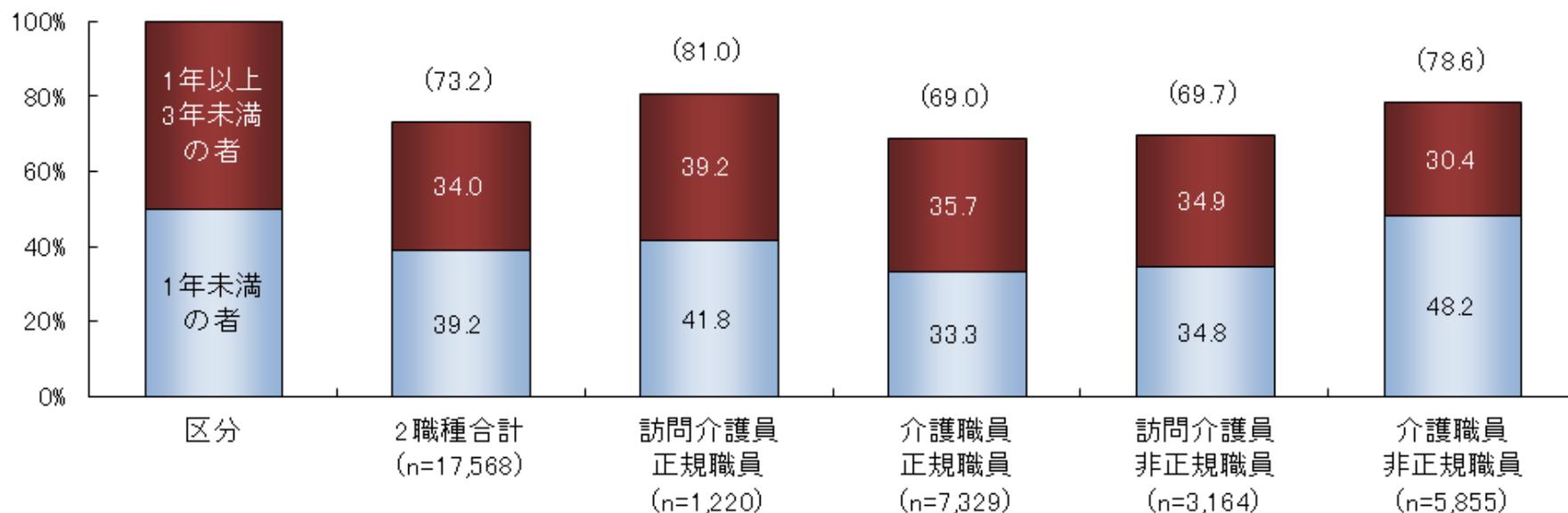
(2) 事業所の所在地別

政令指定都市、市・区で採用率、離職率が高い



2 訪問介護員、介護職員の採用・離職の状況(平成24年10月1日～25年9月30日)

(3) 離職者の勤務年数 **離職者の約73%が勤務年数3年未満**



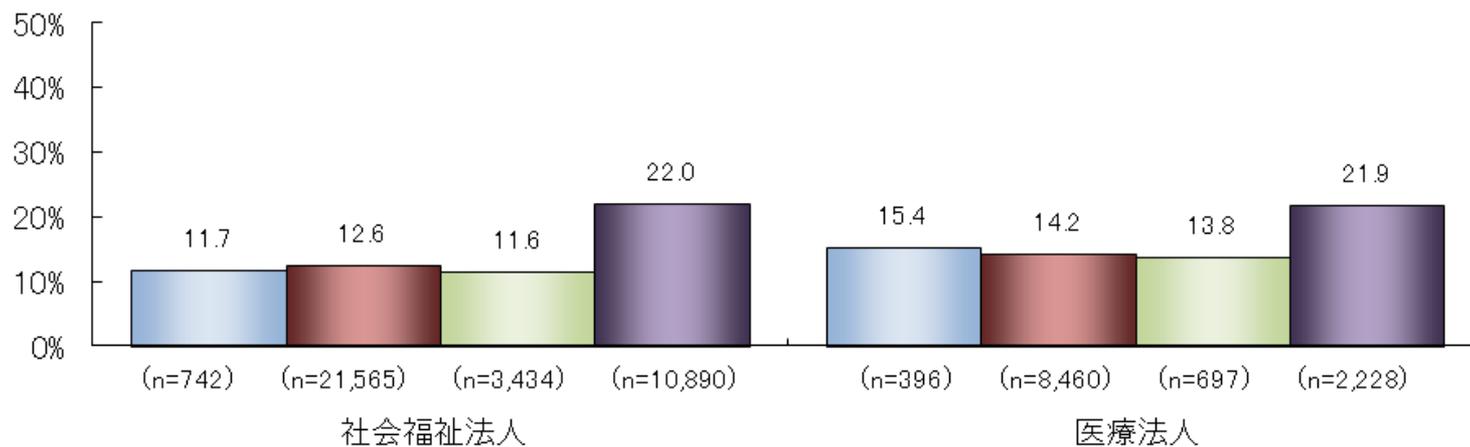
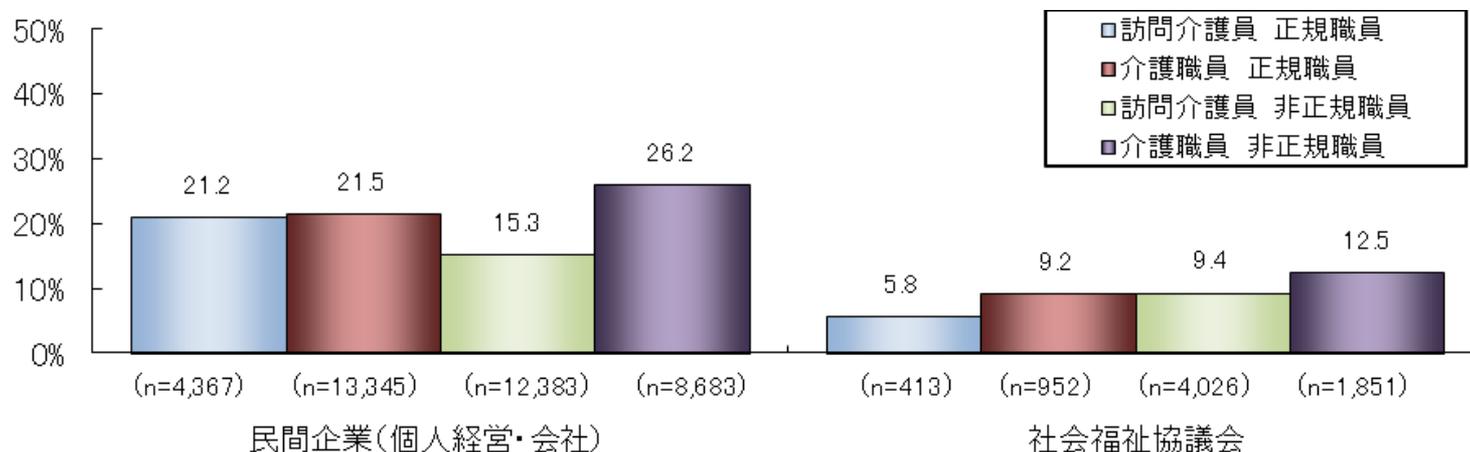
()内は1年間の離職者のうち1年未満の者と1年以上3年未満の者の合計割合

2 訪問介護員、介護職員の採用・離職の状況(平成24年10月1日～25年9月30日)

(4) 離職率について法人格・職種別の事業所割合

① 法人格別 離職率

民間企業の離職率が高い

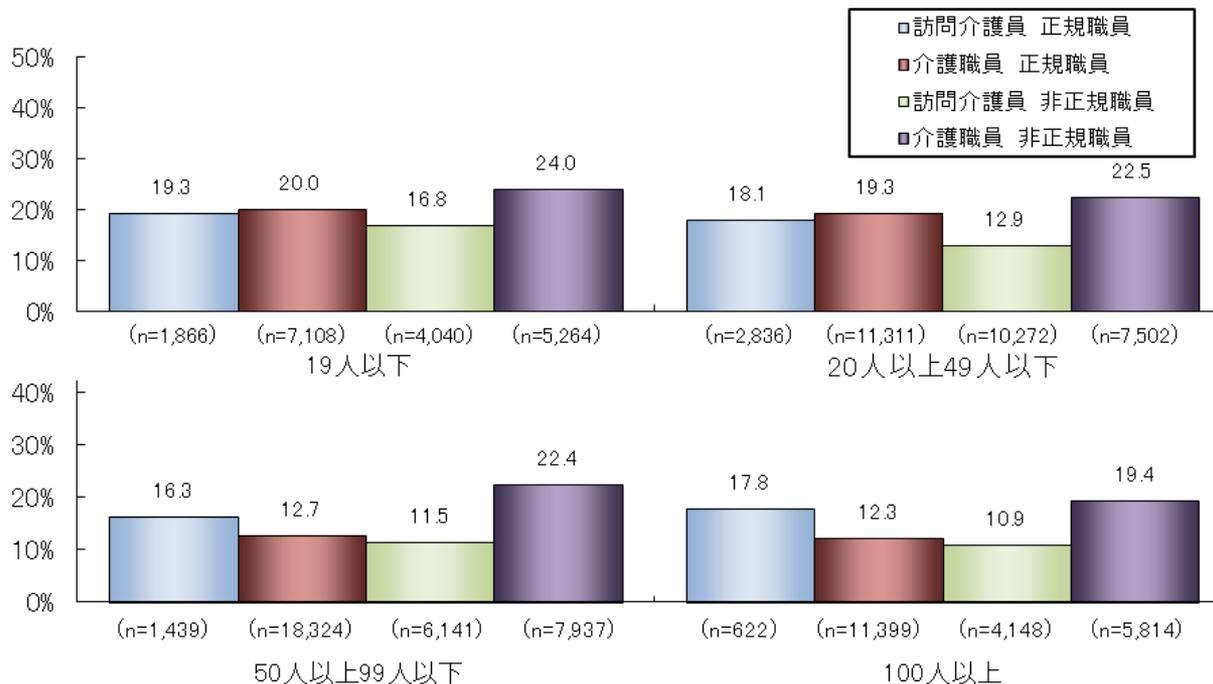


2 訪問介護員、介護職員の採用・離職の状況（平成24年10月1日～25年9月30日）

（5）離職率について事業所規模・事業開始経過年数別の事業所の割合

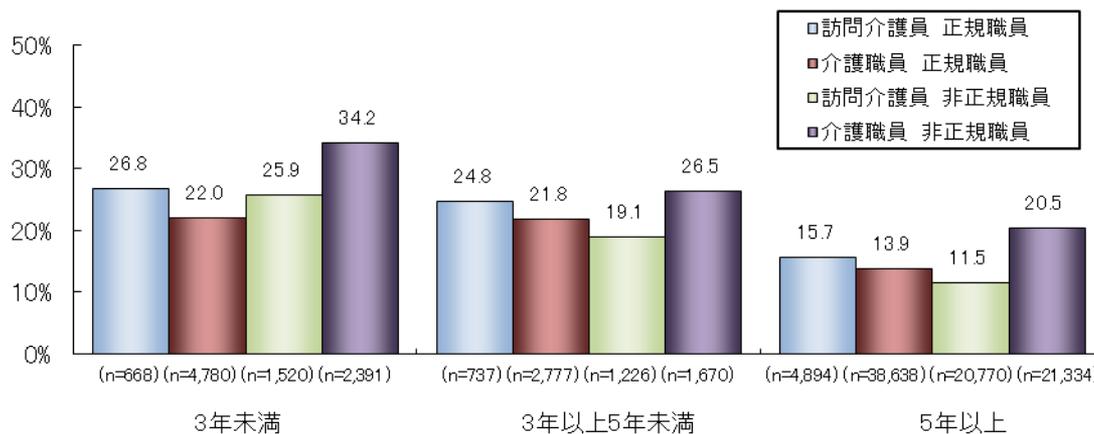
① 事業所規模別 離職率

19人以下の離職率が高い



② 事業開始後経過年数別 離職率

年数が経過するほど離職率が低くなる

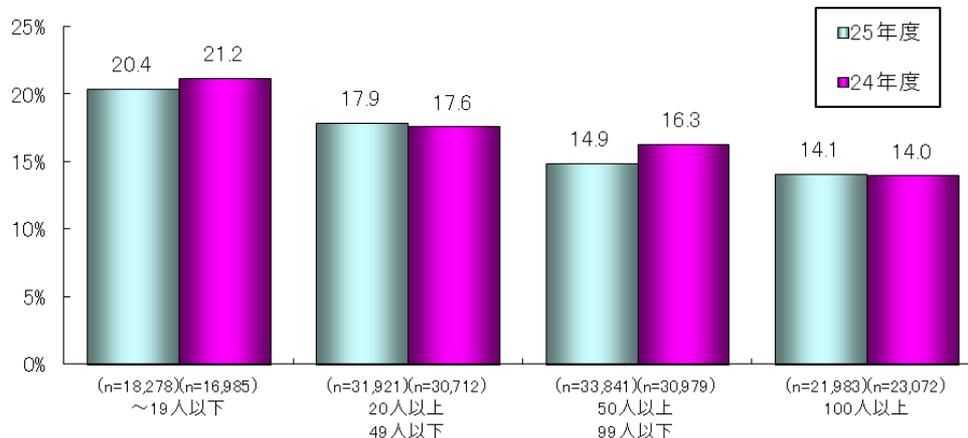


2 訪問介護員、介護職員の採用・離職の状況(平成24年10月1日～25年9月30日)

(1) 離職率の前年対比較

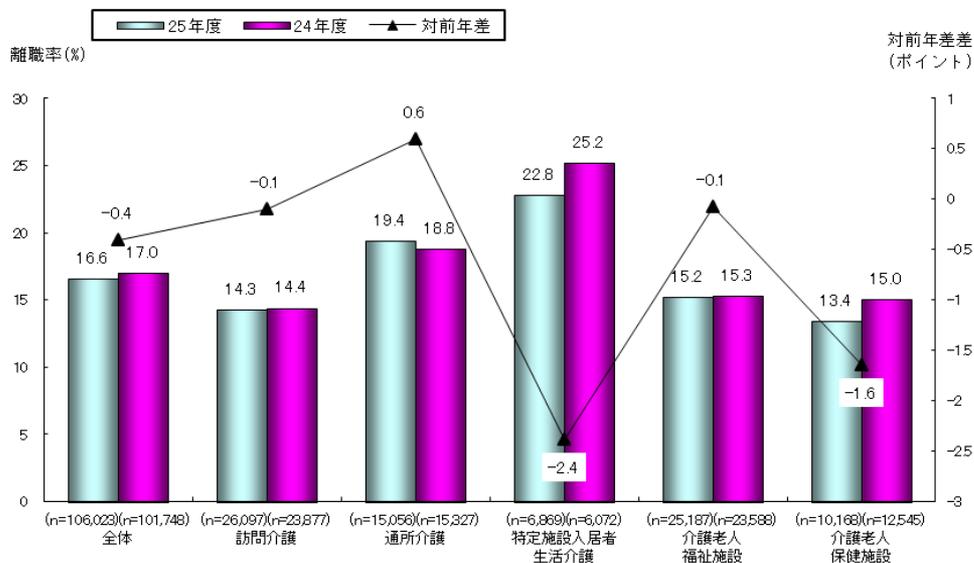
① 事業所規模別 離職率比較

20人以上49人以下、100人以上では前年度よりも
離職率が上昇した



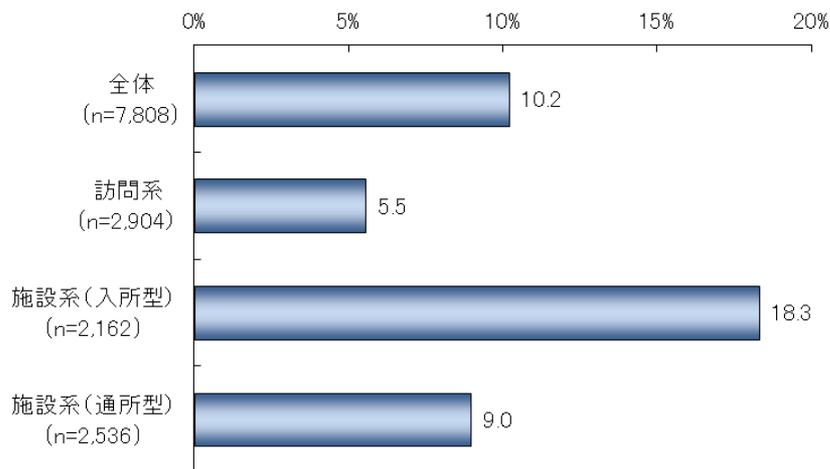
② 介護サービス別 離職率比較

通所介護は離職率が0.6%上昇した



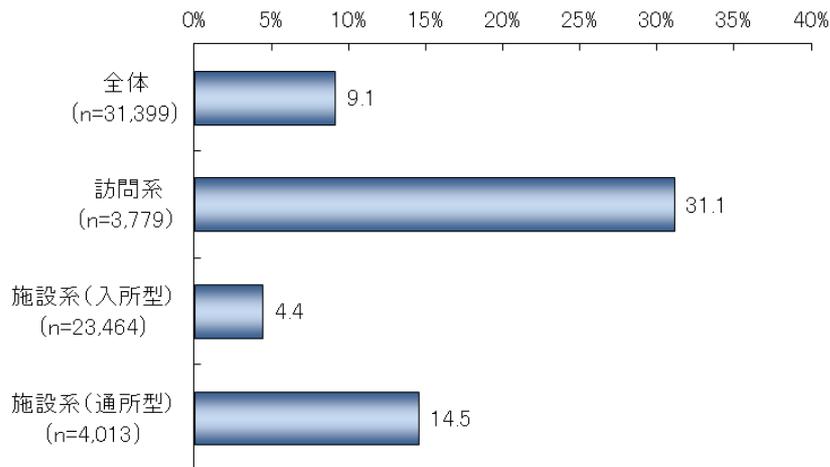
3 派遣労働者の受け入れ状況

(1) 派遣労働者の受け入れ事業所の割合



全体の約10%が派遣労働者を受け入れている
施設系(入所型)では約18%を受け入れている

(2) 受け入れ事業所での従業員に対する派遣労働者の割合



訪問系は従業員の約31%が派遣労働者

4 従業員の定着について

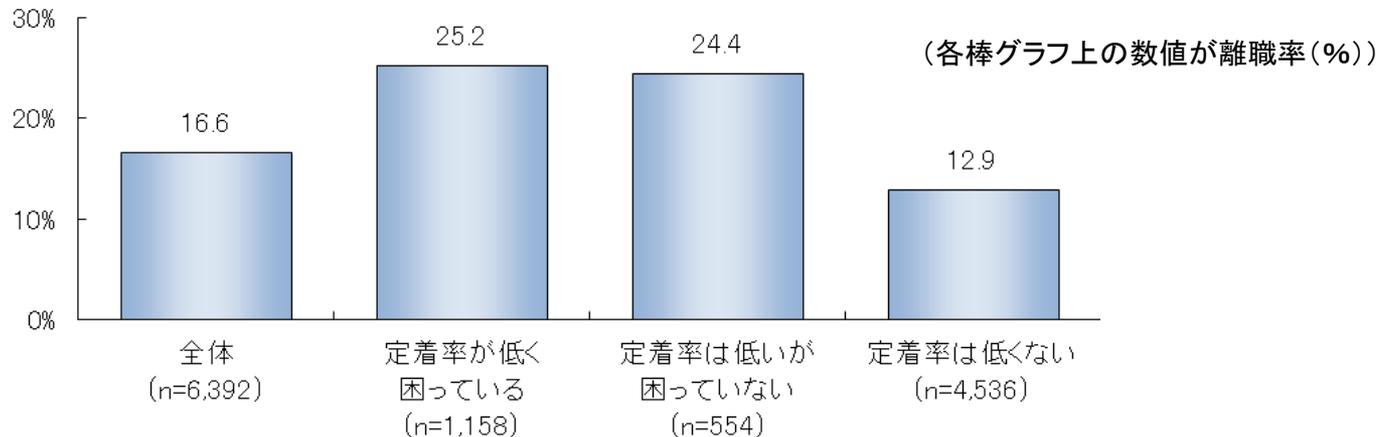
(1) 定着率に対する事業者の認識

約71%が「定着率は低くない」との認識



◆定着率の認識と実際の離職率

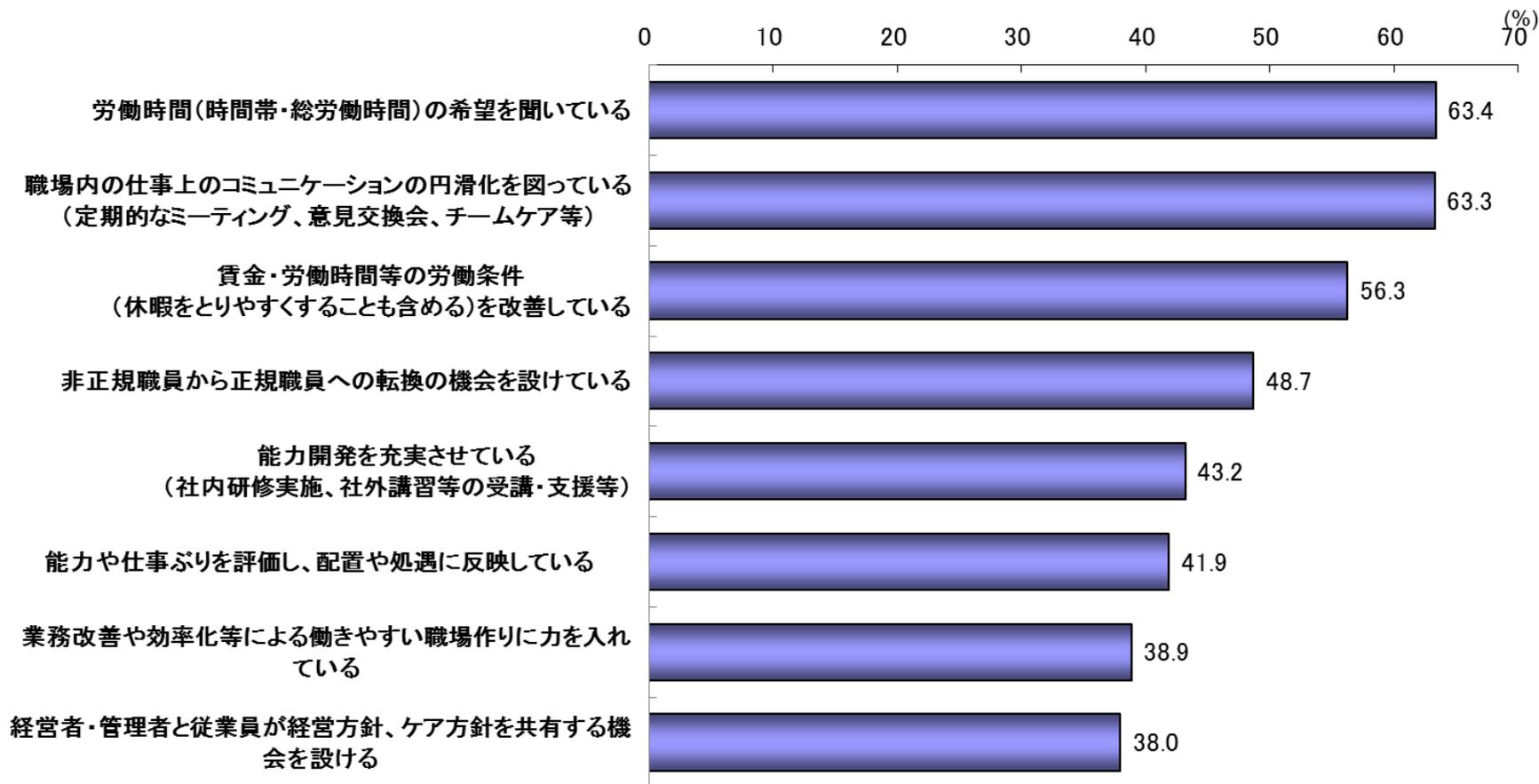
「困っている」、「困っていない」と回答した事業所の離職率の差は約1%



5 早期離職防止及び定着促進の方策

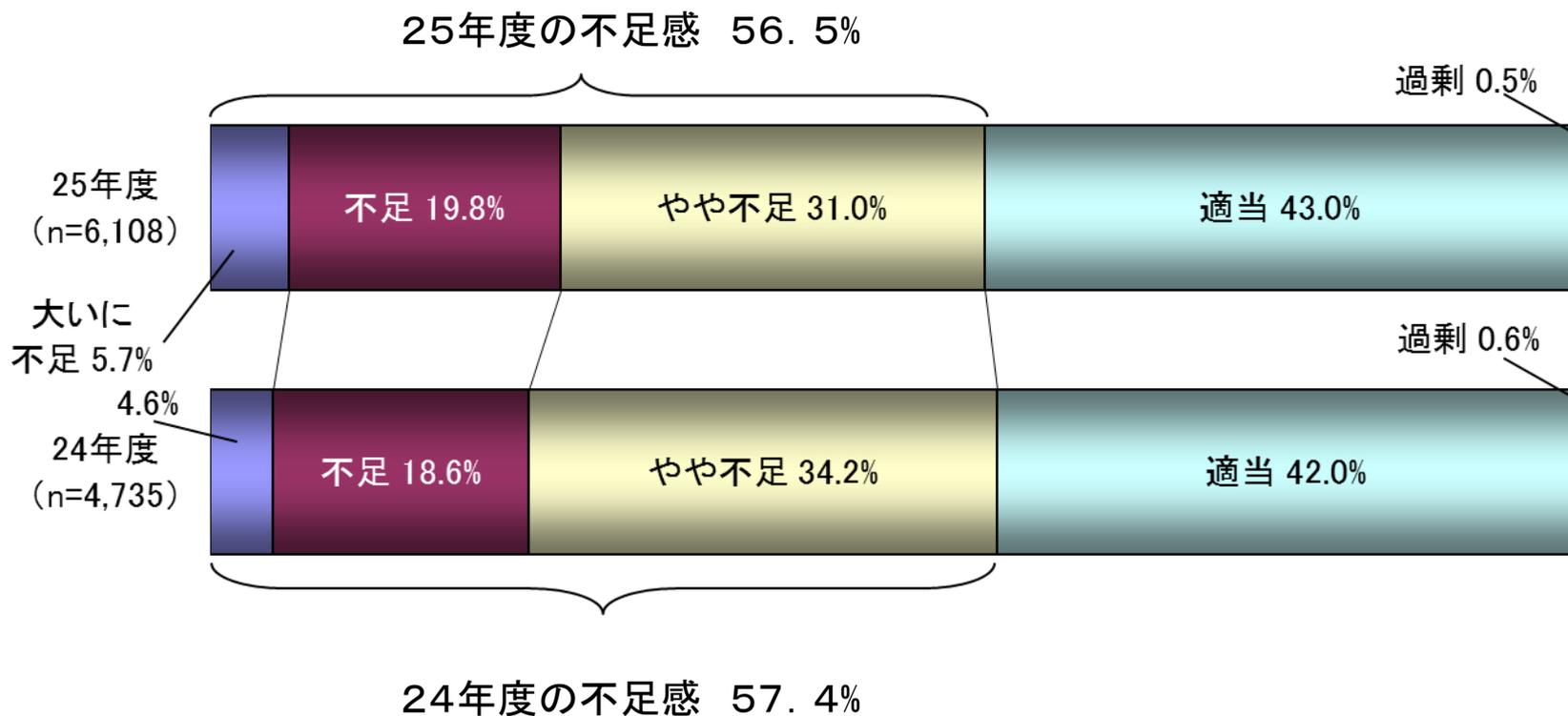
(1) 定着率向上の為の取り組み

「労働時間の希望を聞く」、「コミュニケーションの円滑化を図る」が重要



6 従業員の過不足状況

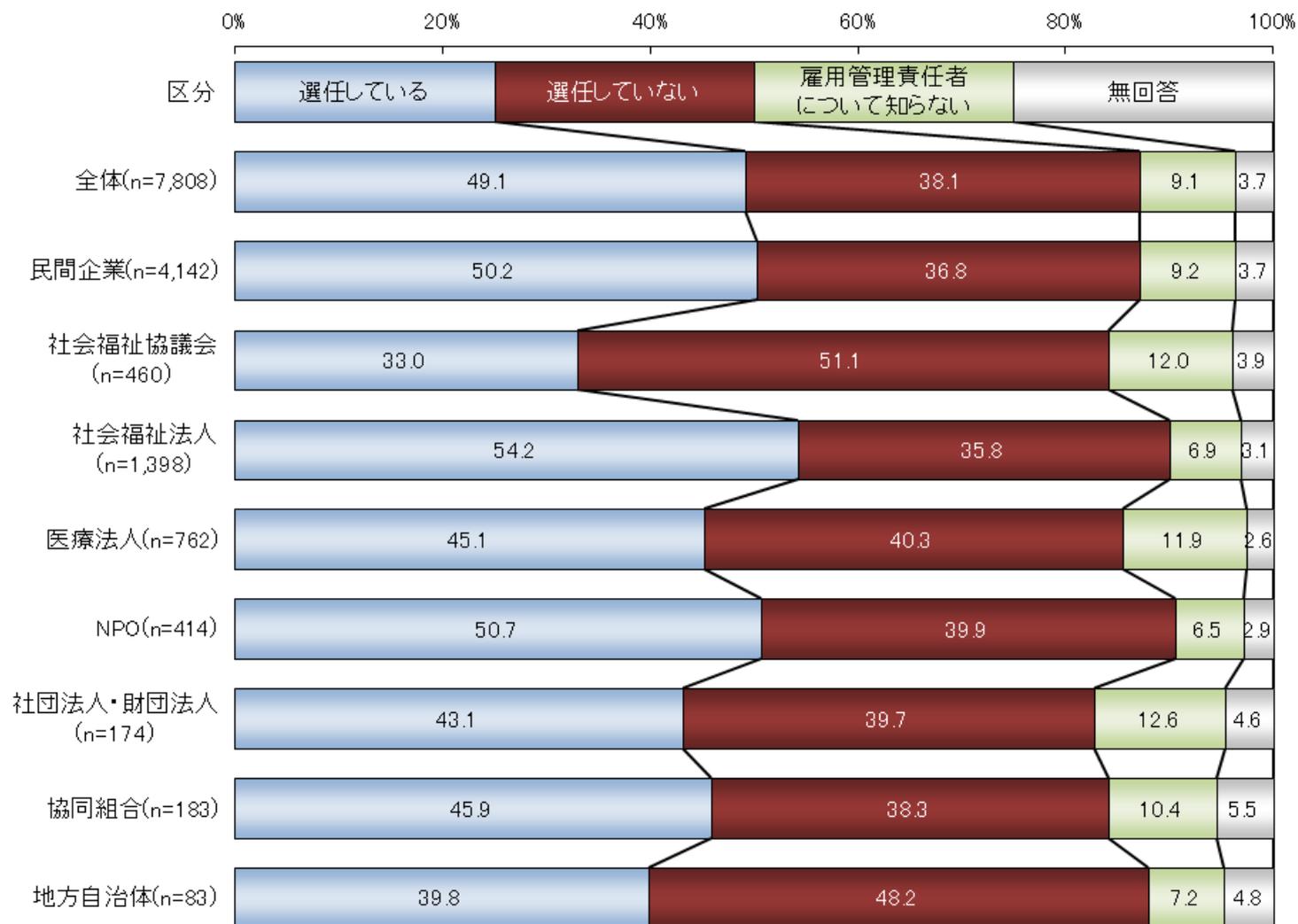
前年度と比較して 不足感は0.9%減少



7 雇用管理責任者の選任状況

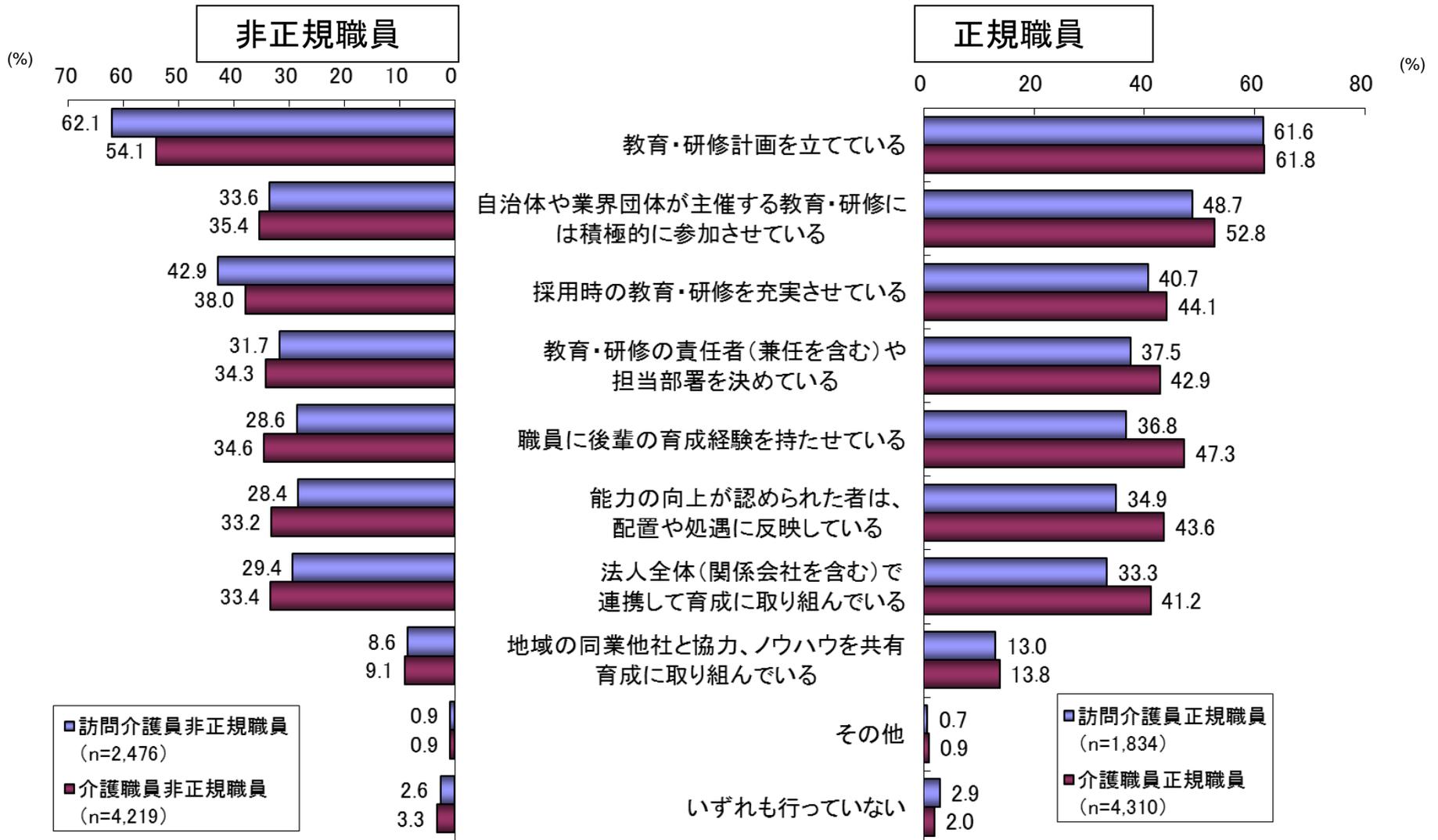
<法人格別>

全体では約49%の事業所が選任している

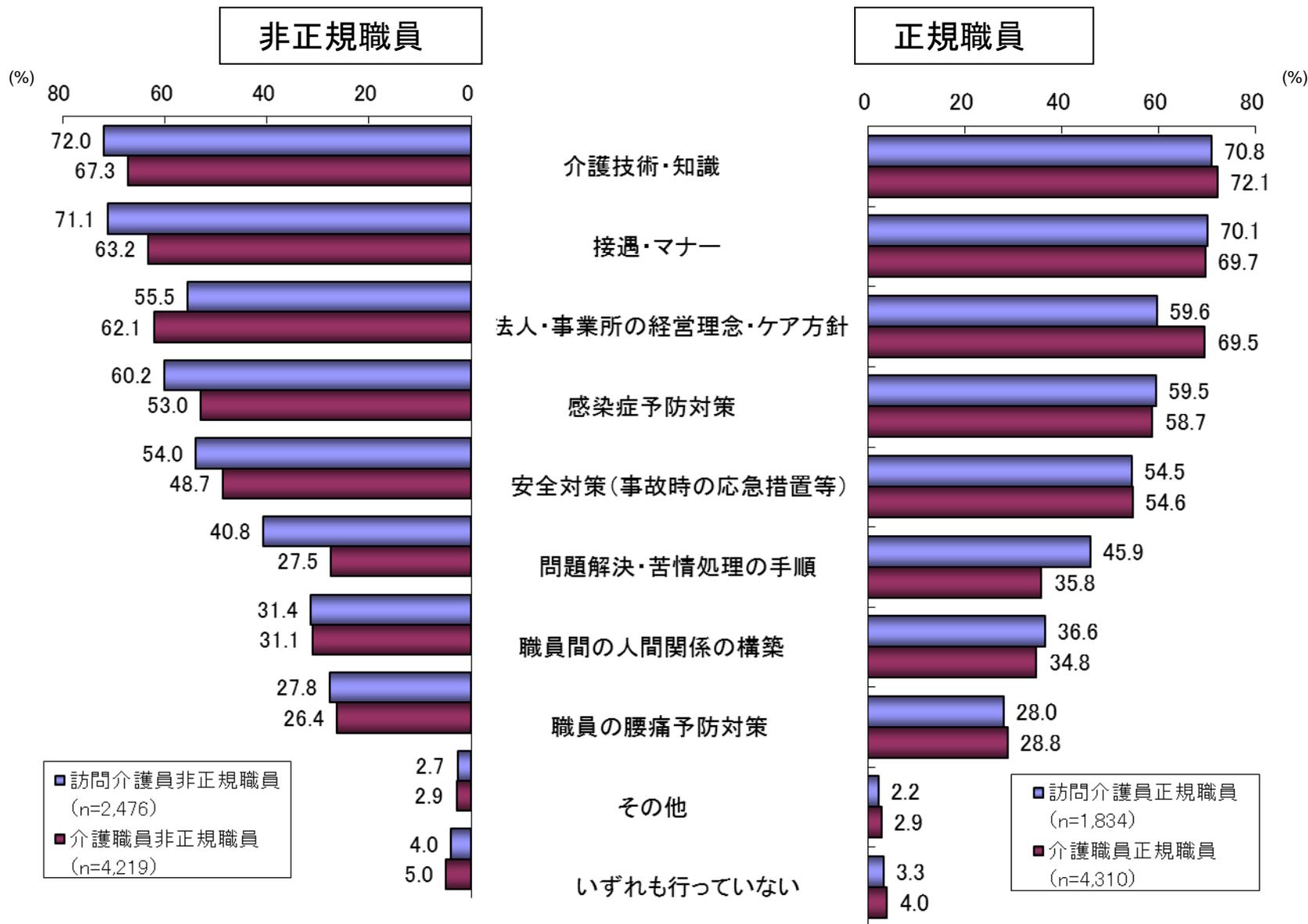


IV 訪問介護員、介護職員に対する教育・研修の状況

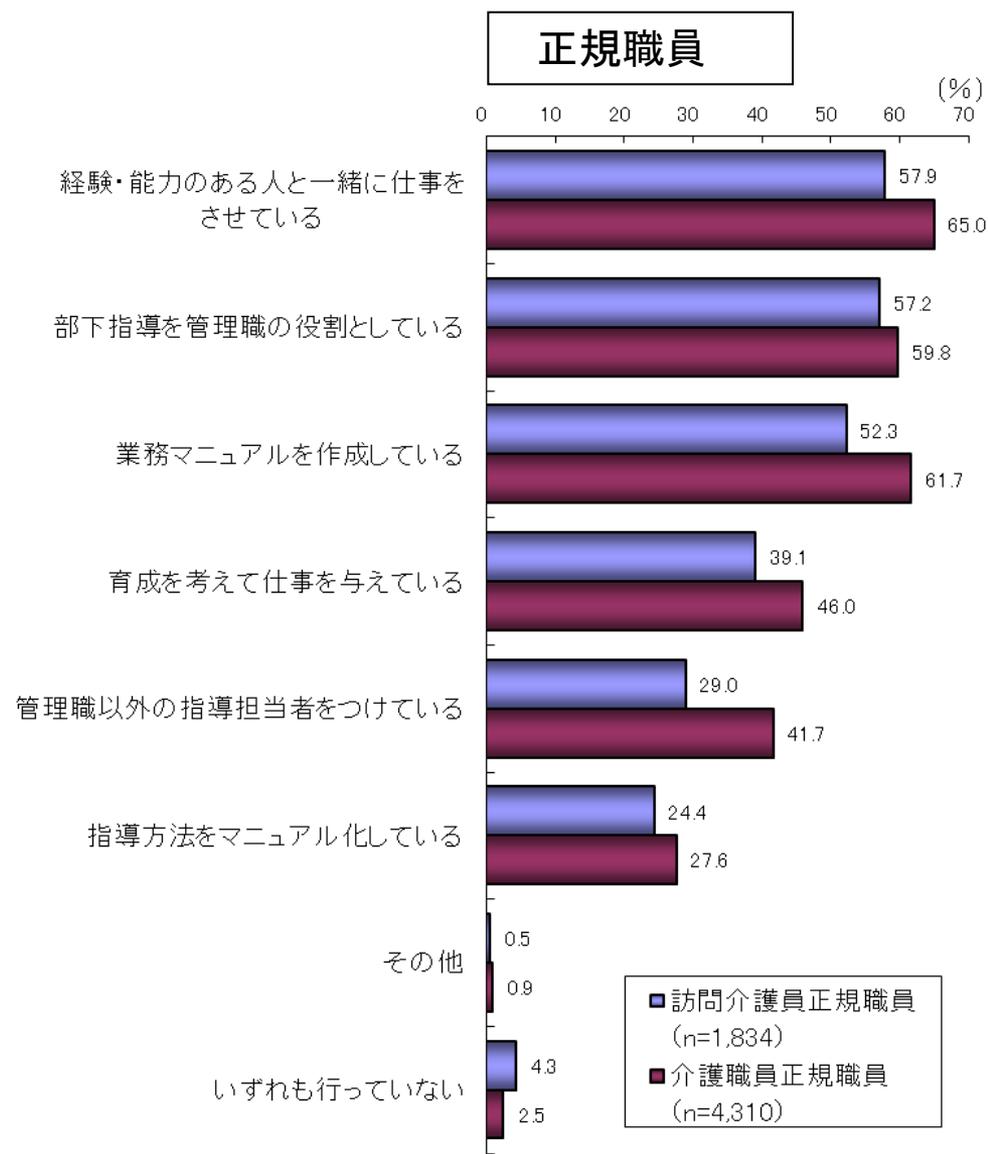
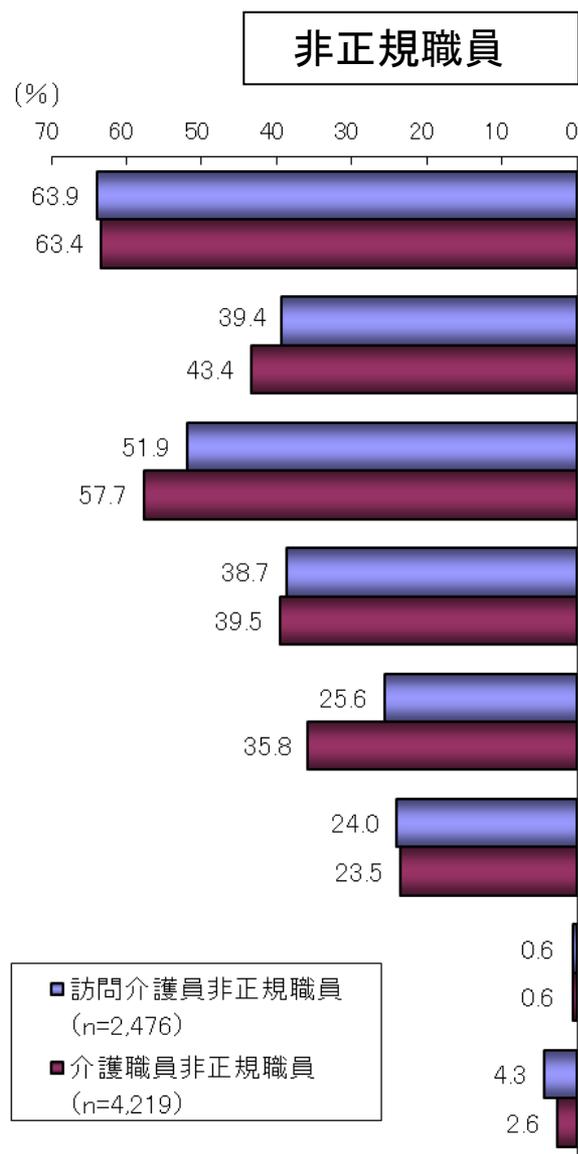
1 訪問介護員、介護職員の人材育成の取り組み状況



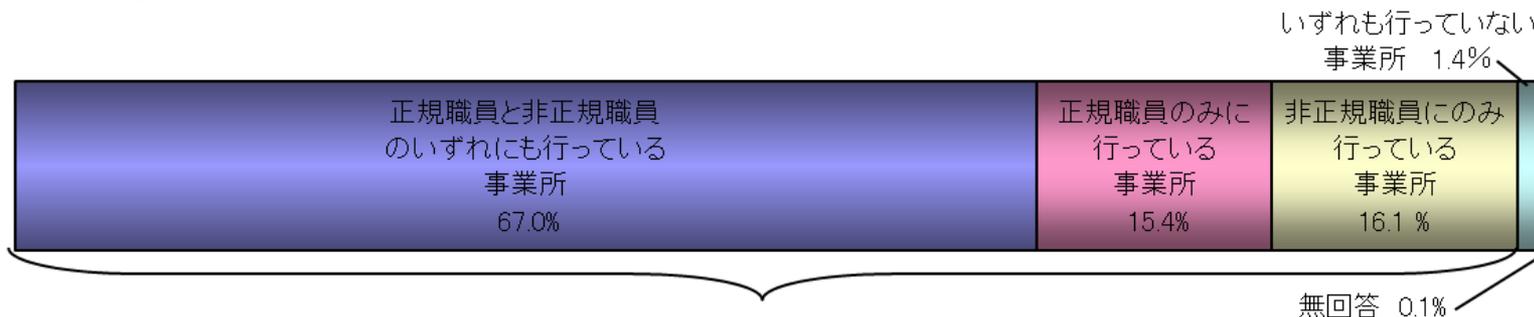
2 採用時の教育・研修内容



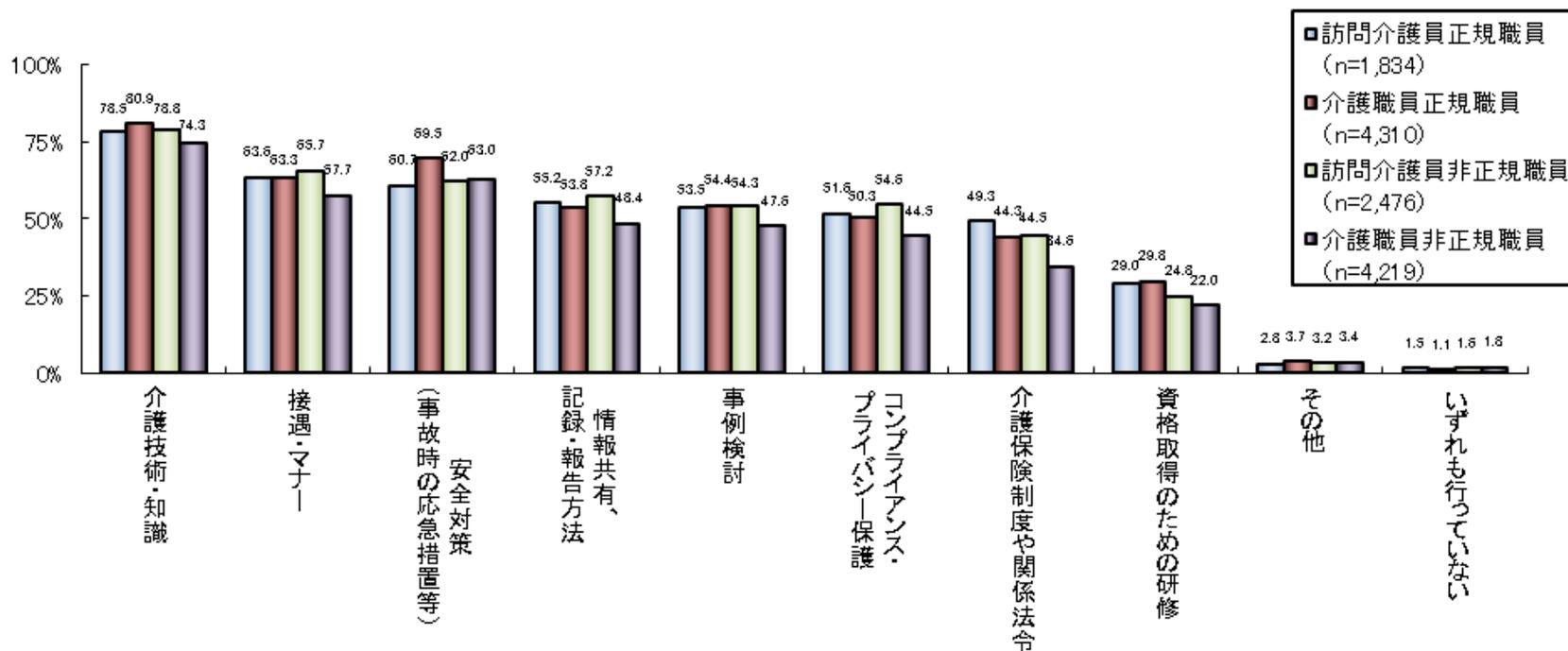
3 OJTの方法



4 1年間の教育・研修等の実施状況

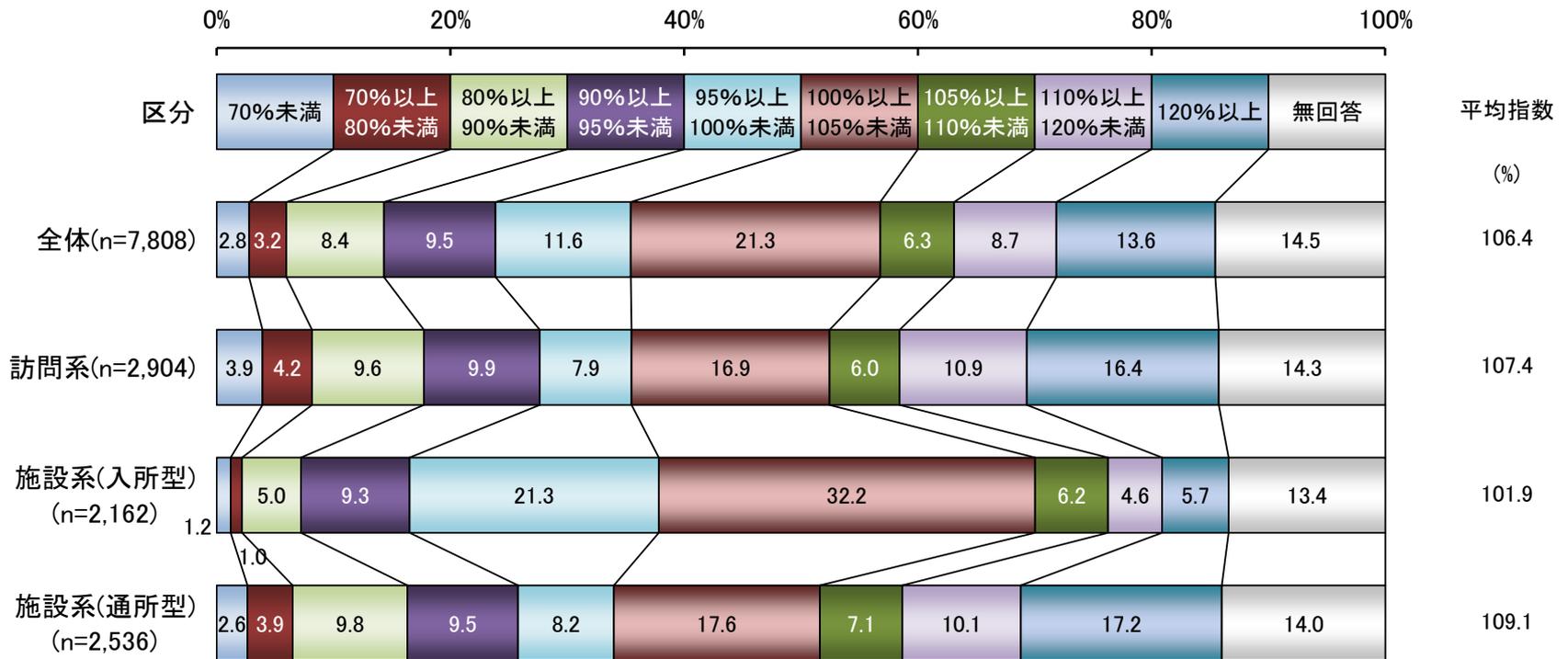


就業形態に拘わらず研修等を実施している事業所は98%以上



V 運営上の課題

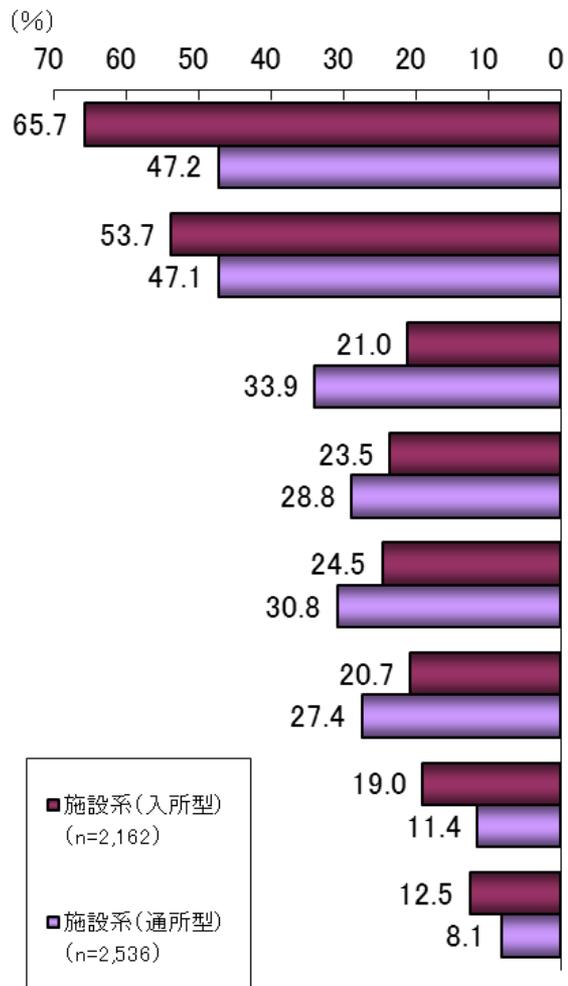
1 事業収入の前年度比較



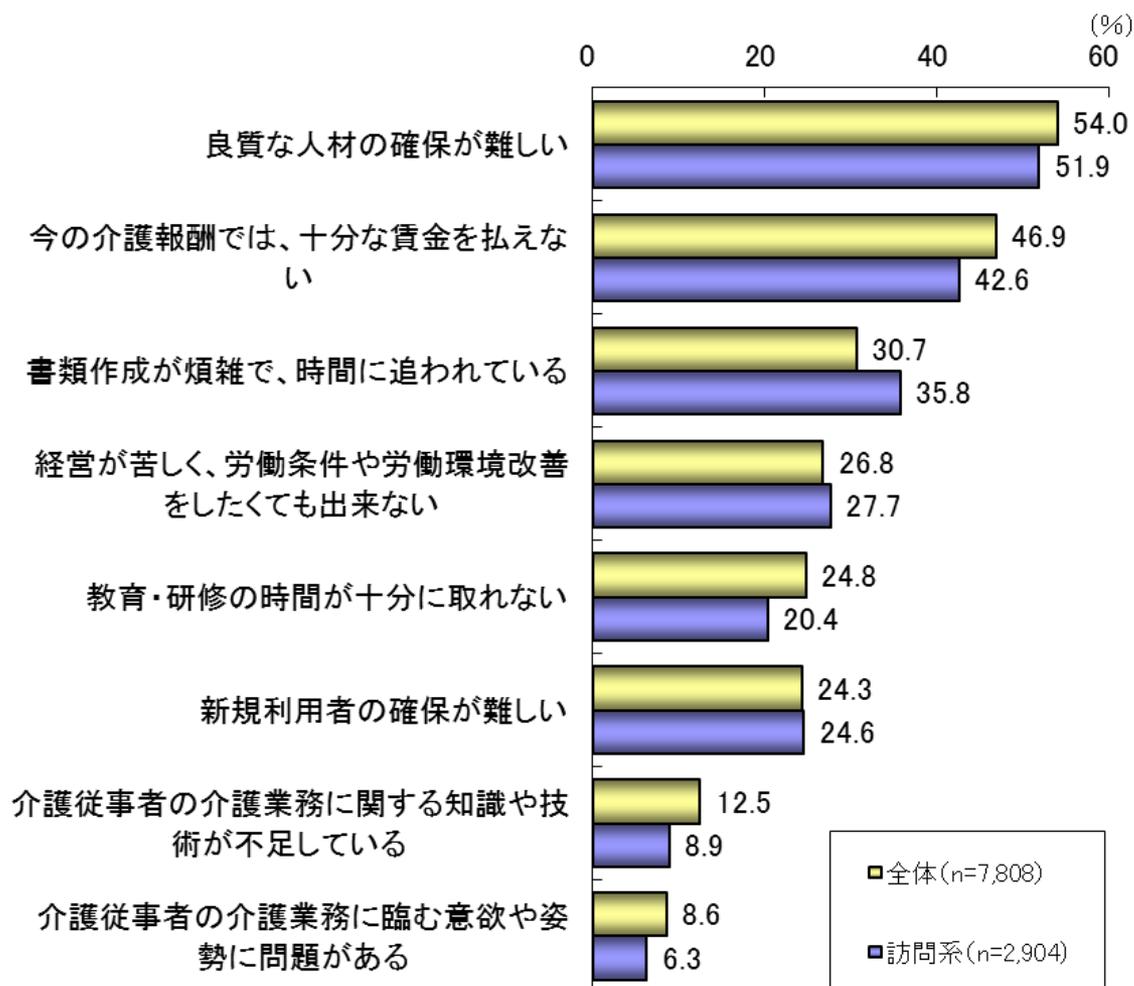
※平成24年9月の事業収入100に対する平成25年9月の事業収入指数

2 介護サービス事業を運営する上での問題点

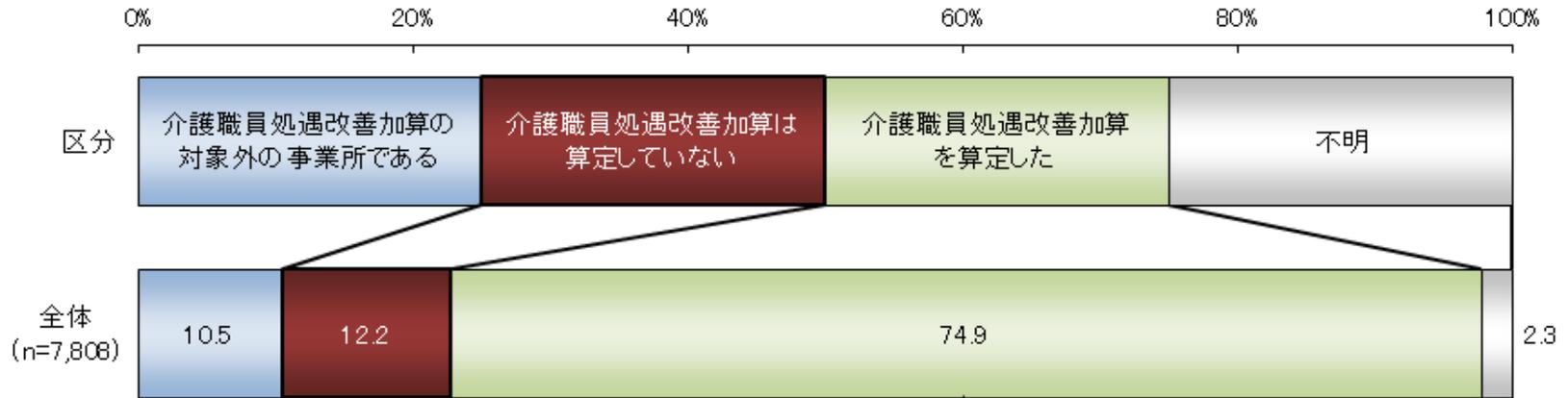
<施設系(入所型・通所型)>



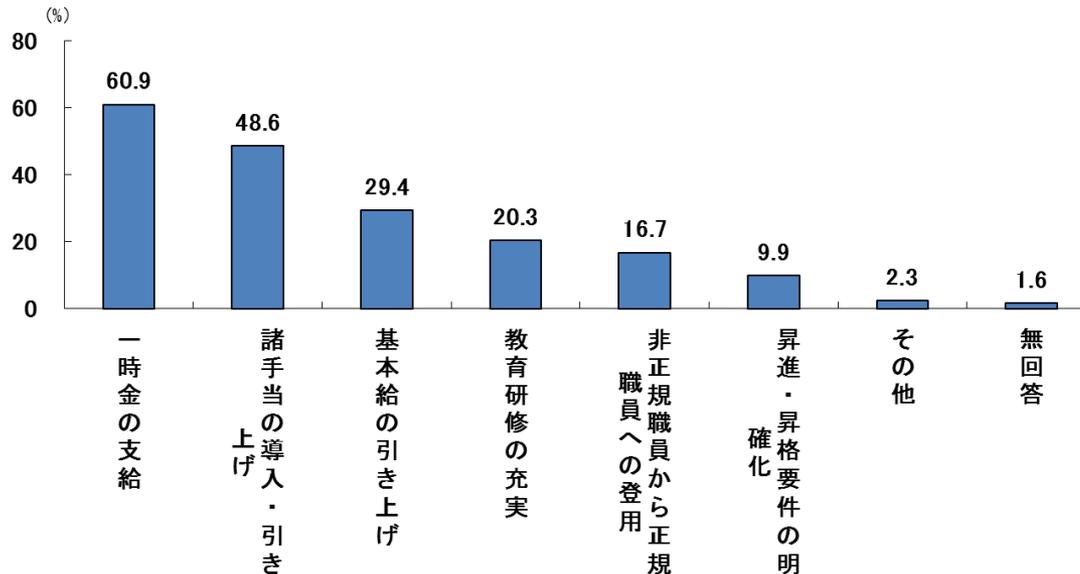
<全体と訪問系>



3 介護職員処遇改善加算に伴う経営面での対応

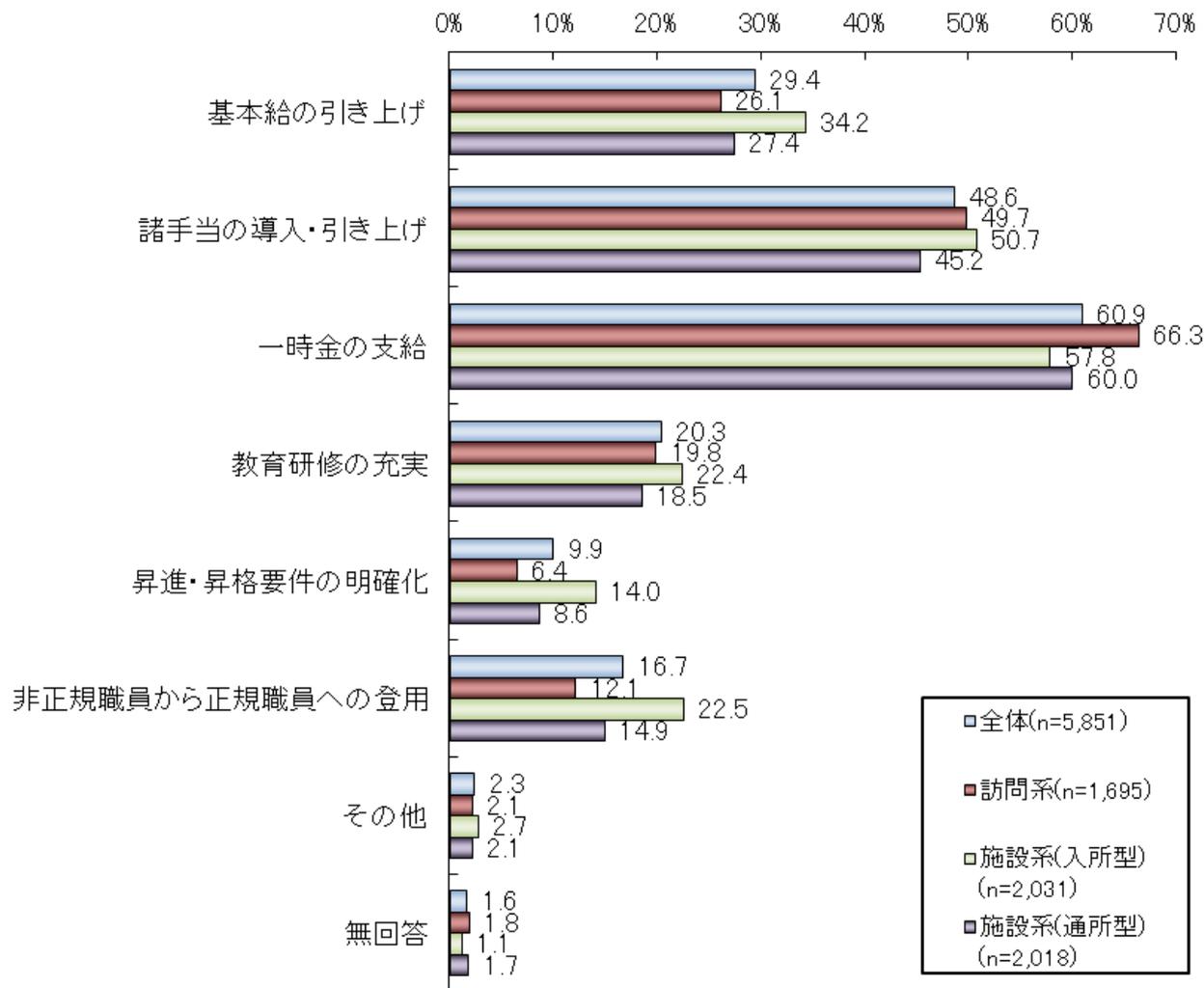


介護職員処遇改善加算を算定した事業所の対応 (n=5,851)



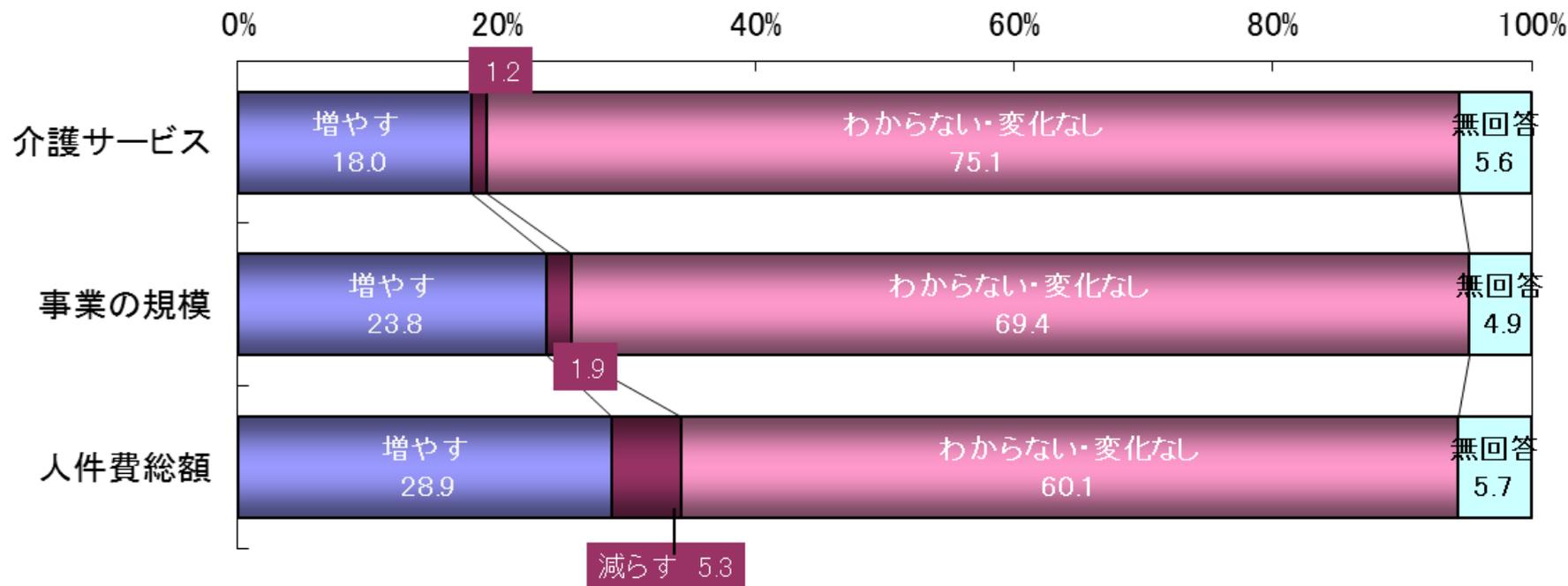
4 介護職員処遇改善加算に伴う経営面での対応

処遇改善加算の対応 一時金の支給が60.9%、
諸手当の導入・引き上げが48.6%



5 今後の方向性

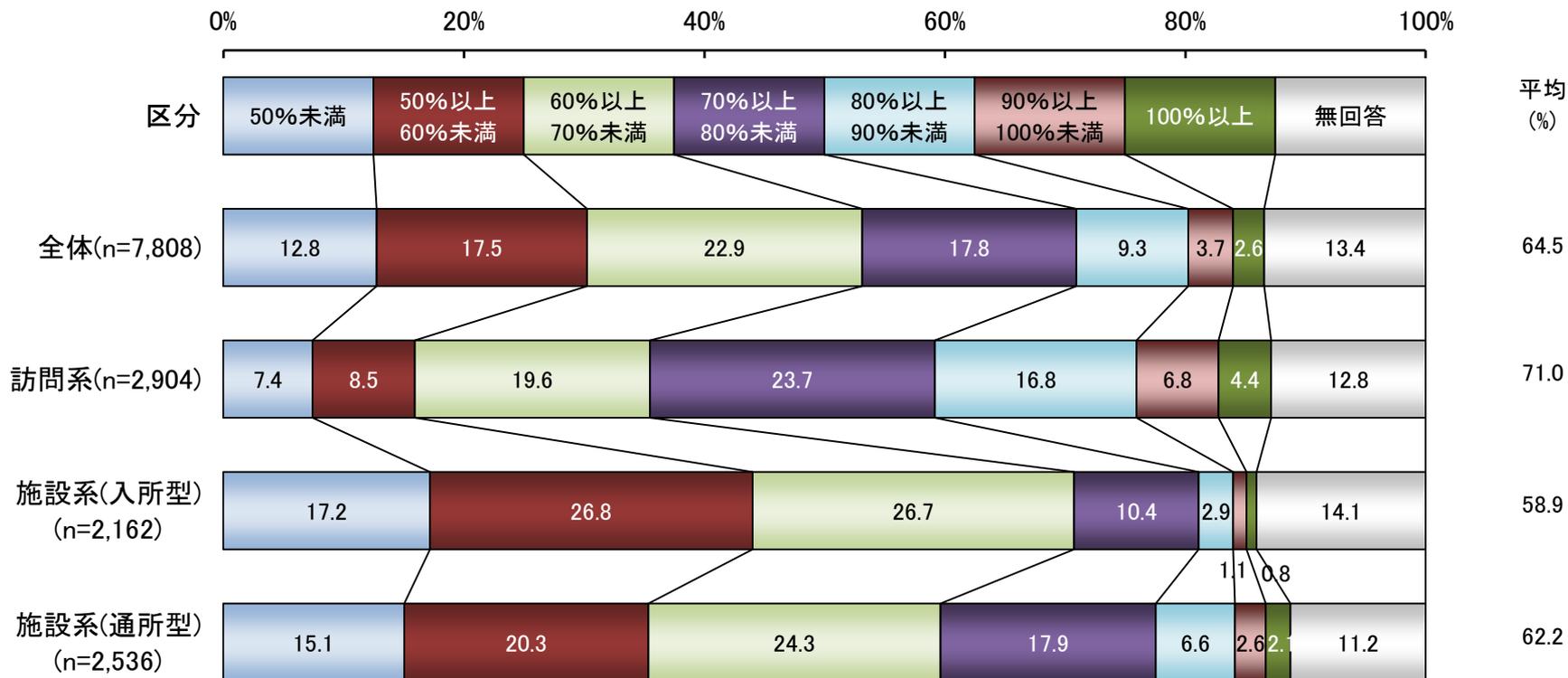
事業の規模拡大 約24% 人件費総額を増やす 約29%



6 介護事業等収入に占める人件費割合

平均(%)

訪問系:71.0% 施設系(入所型):58.9% 施設系(通所型):62.2%



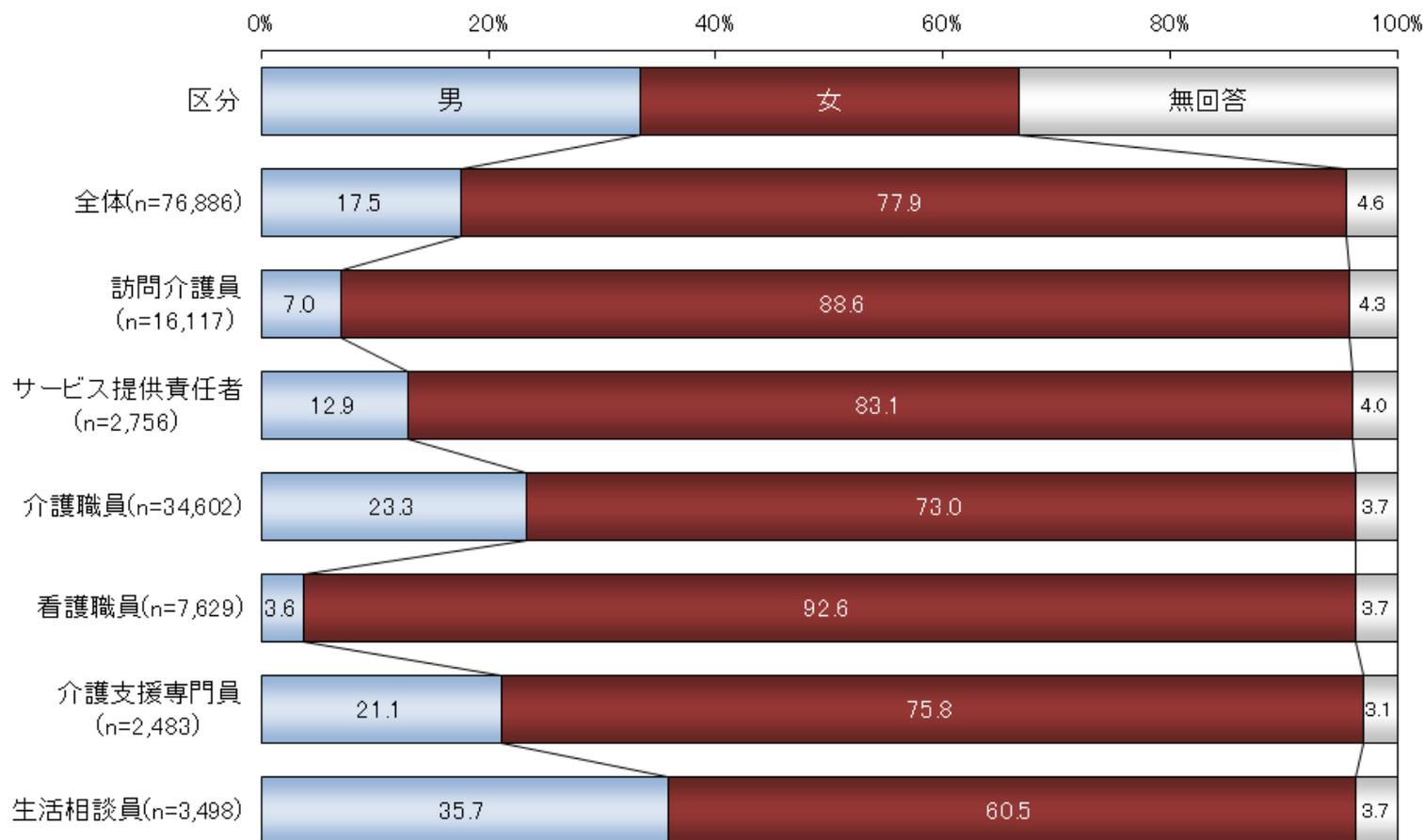
Ⅵ 介護労働者の個別状況

(事業所における介護労働者の個別状況[最大20名/事業所])

1 介護労働者の属性

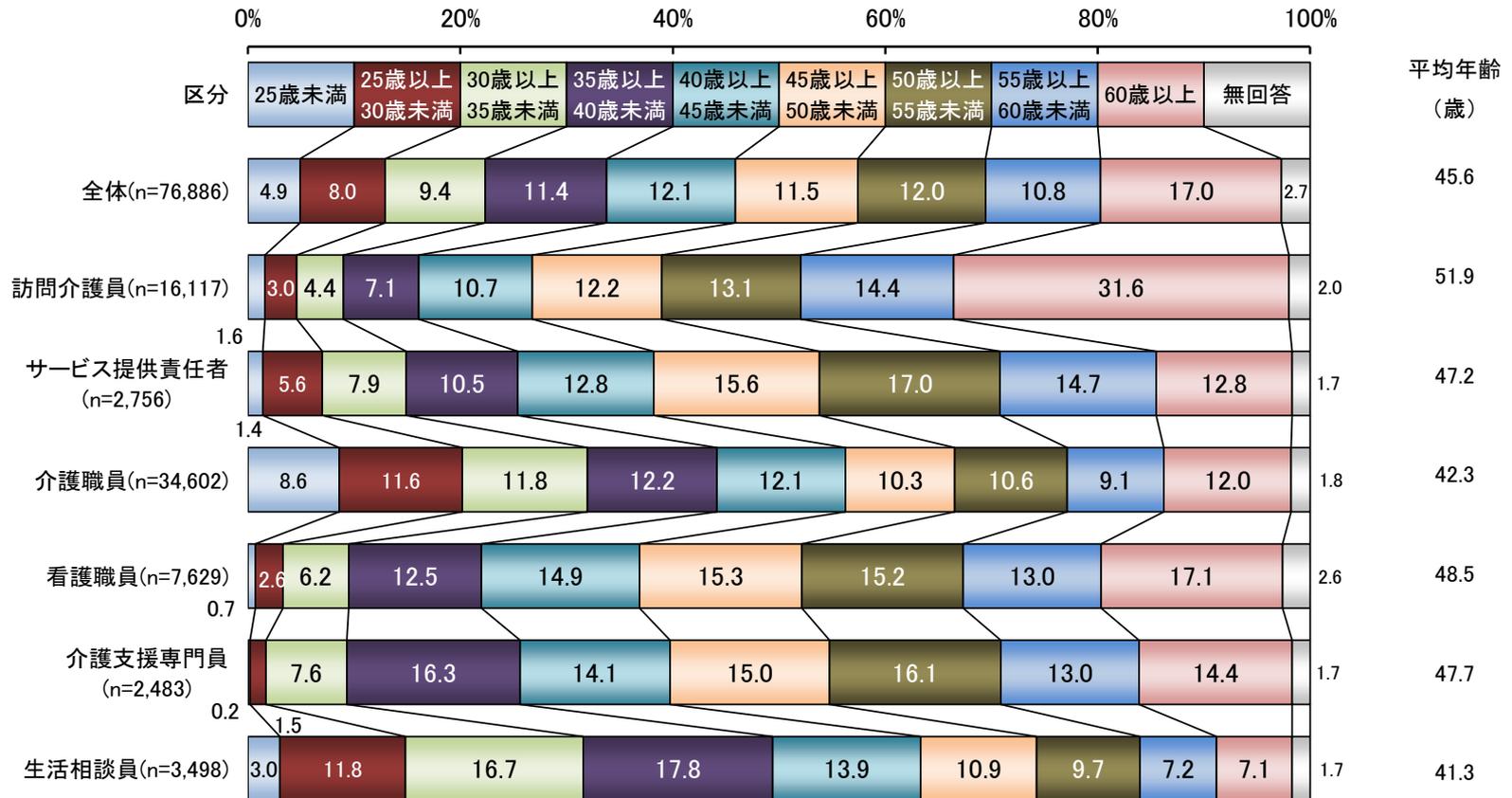
(1) 性別

女性が約78%

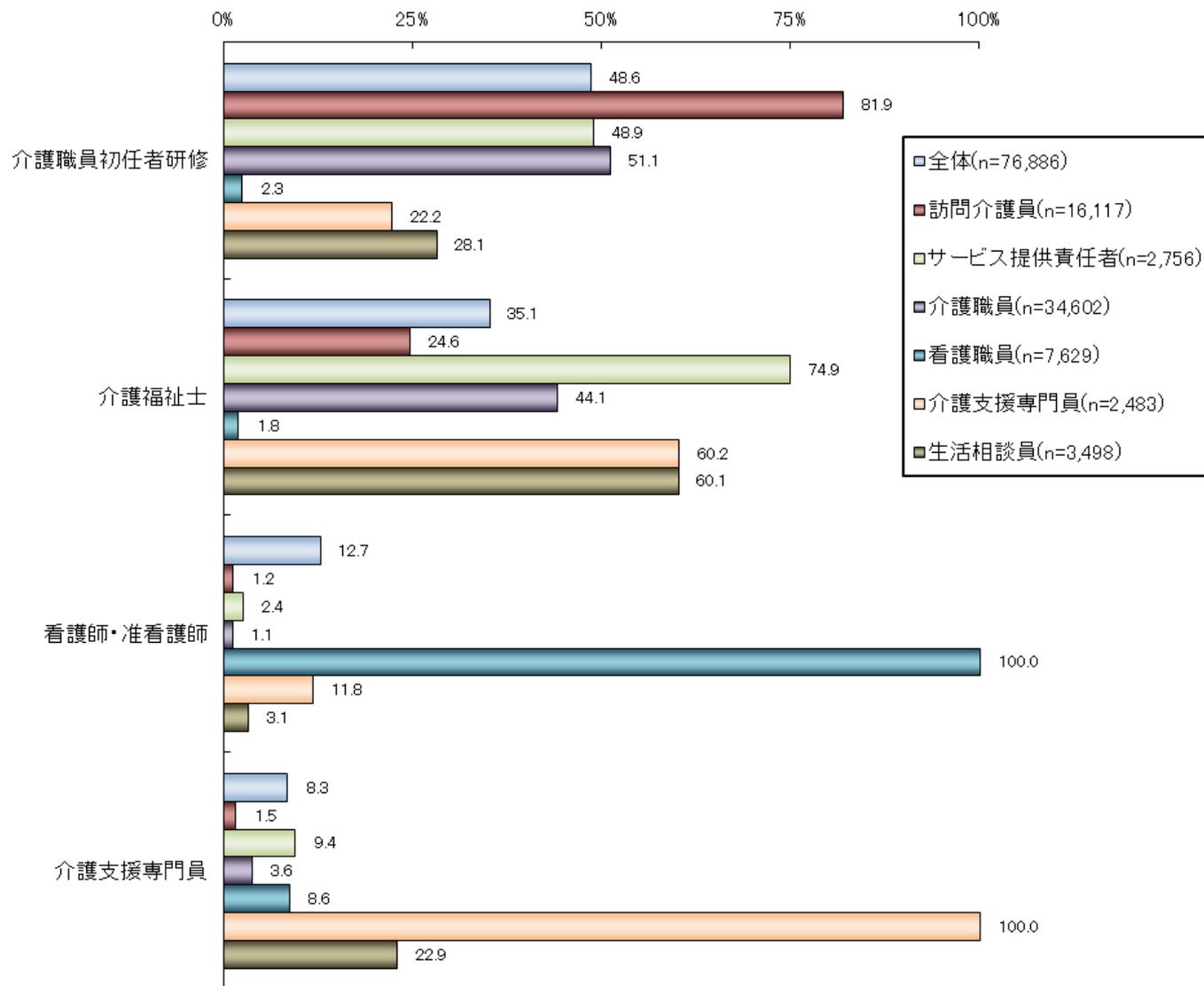


(2) 介護従事者の年齢

平均年齢は45.6歳

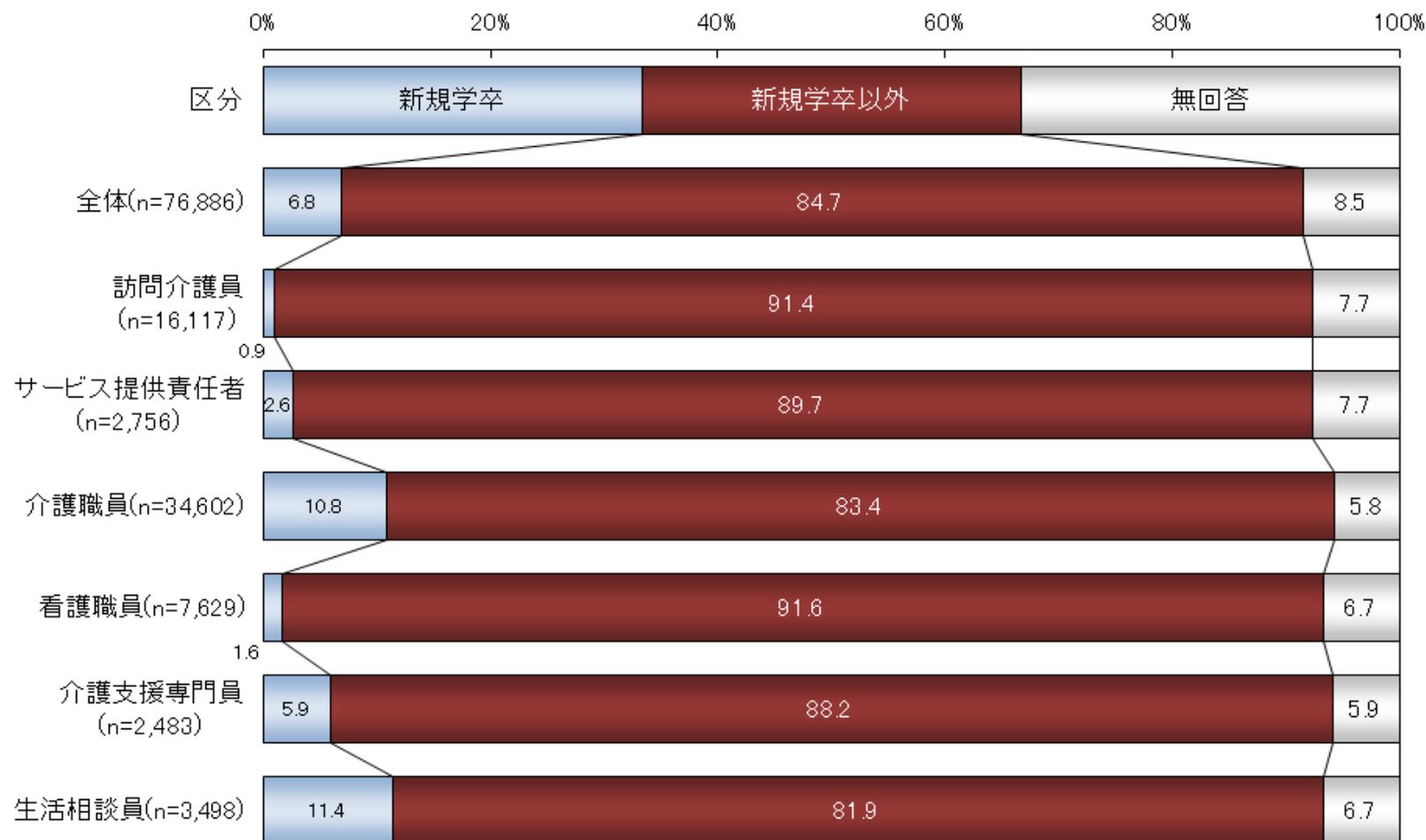


(3) 介護従事者の保有資格(複数回答)



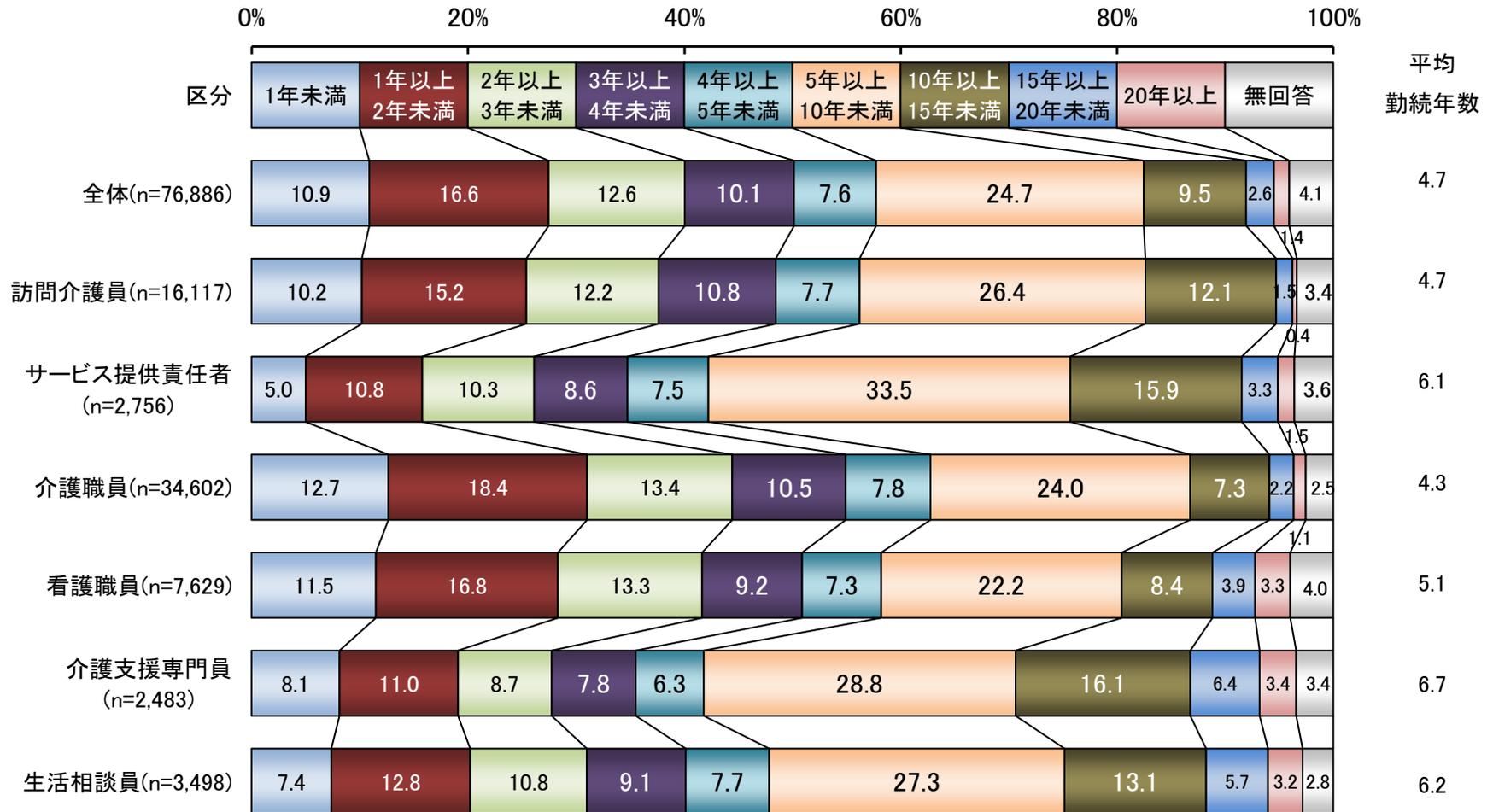
(4) 介護職員の採用状況

新規学卒以外が約85%



(5) 介護職員の勤続年数

平均勤続年数は4.7年

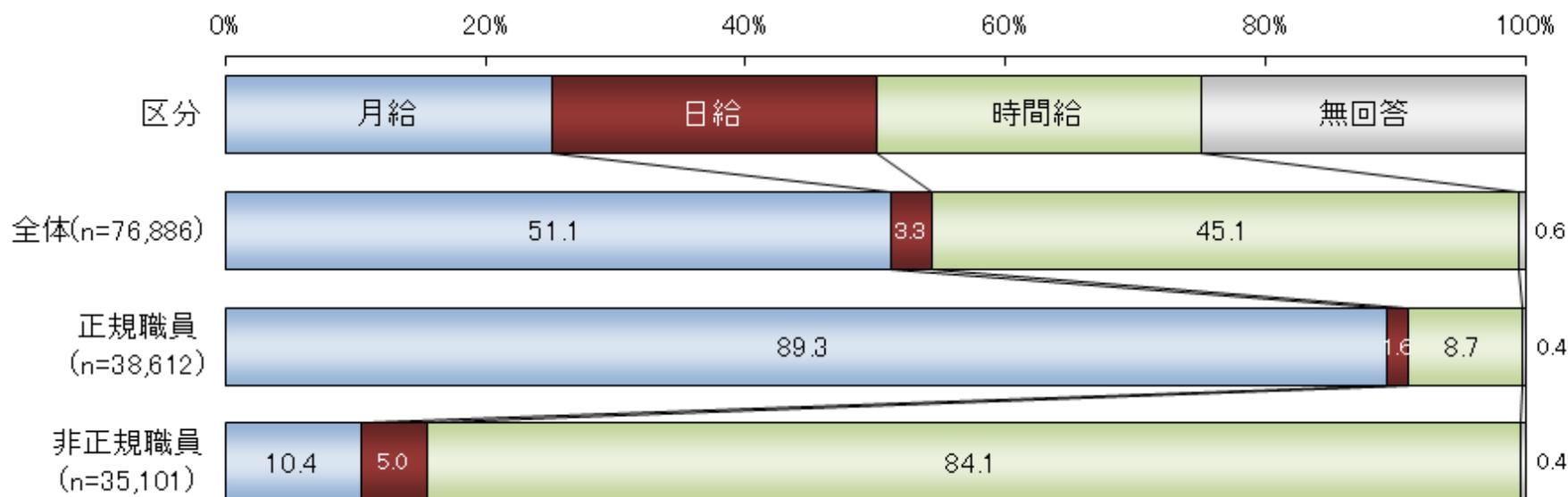


2 賃金

(1) 賃金の支払形態(労働者)

① 就業形態別

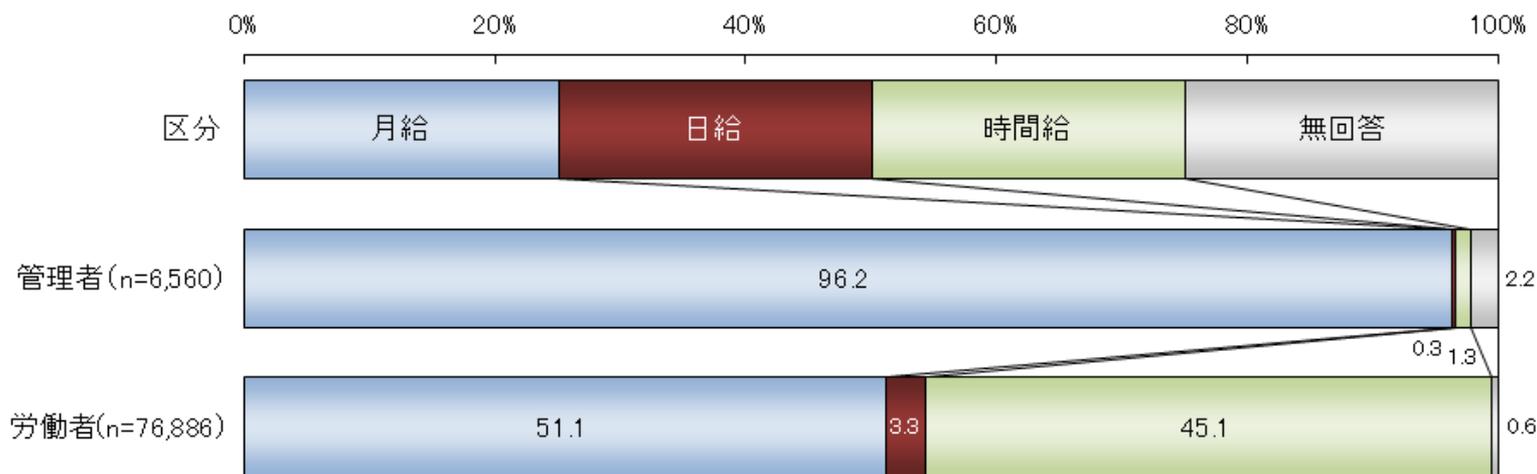
非正規職員の約84%は時間給



(2) 賃金の支払形態(管理者と労働者の比較)

① 就業形態別

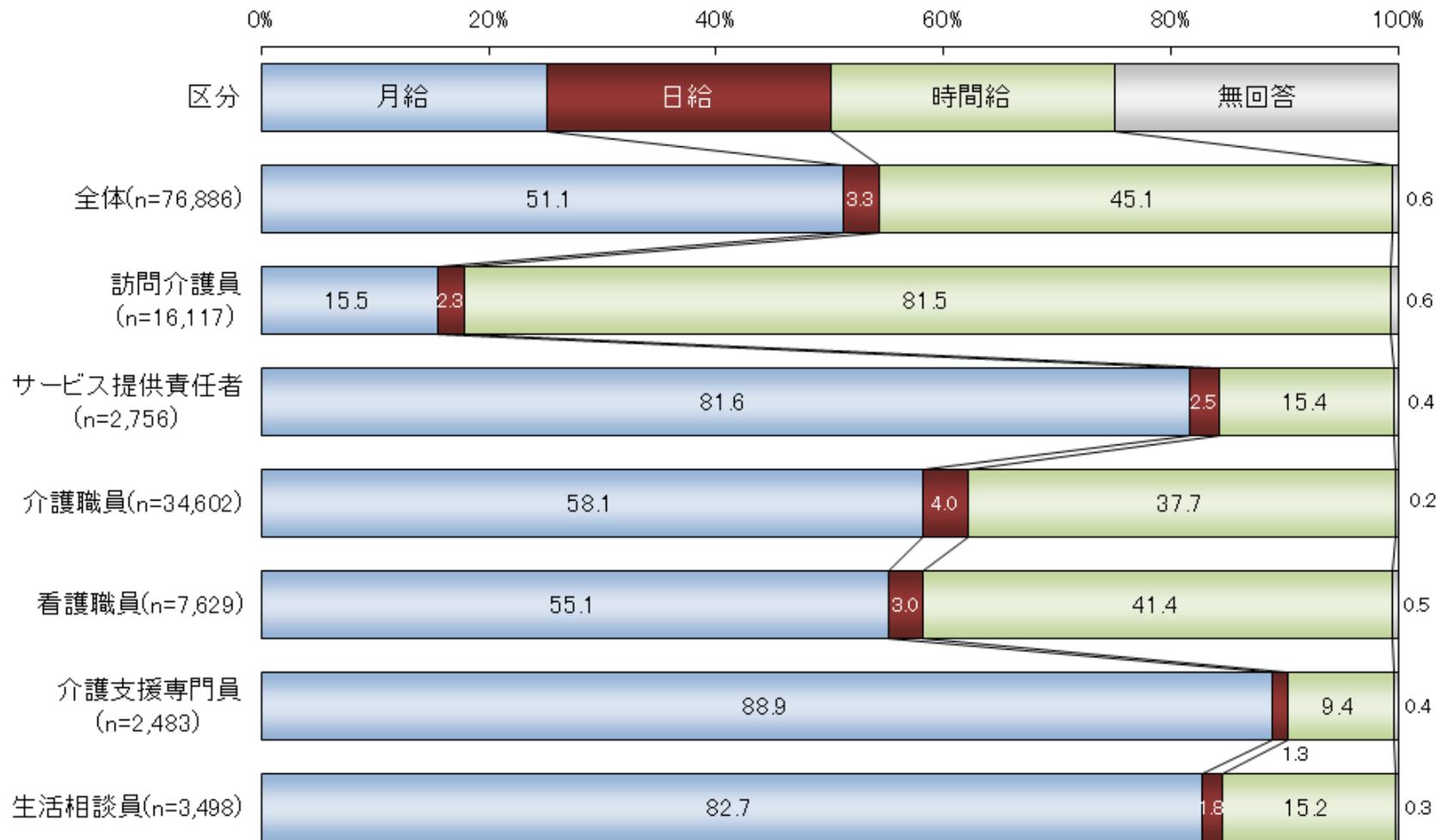
月給:管理者約96% 労働者約51%



(3) 賃金の支払形態

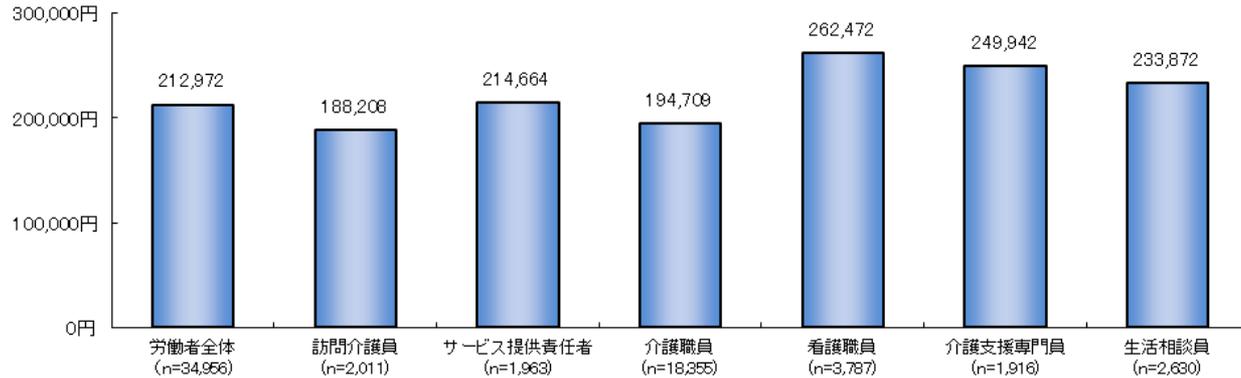
① 職種別

訪問介護員の約82%は時間給

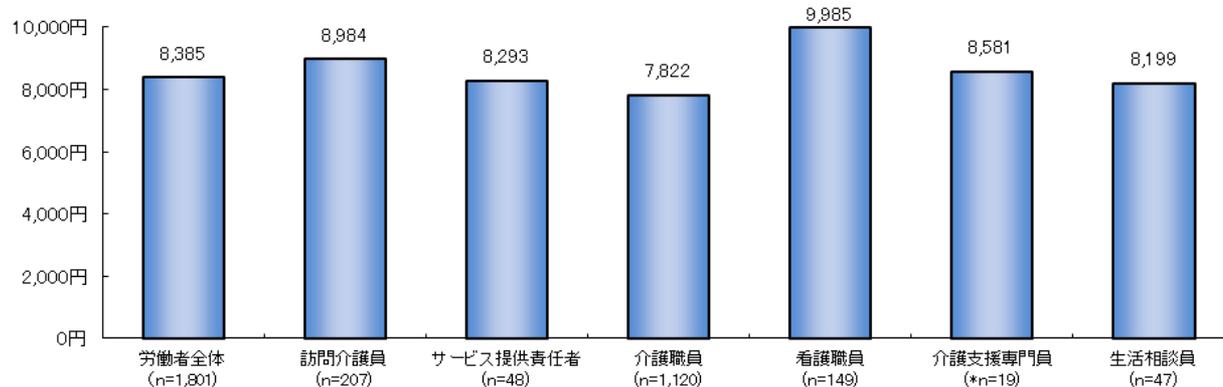


(4) 所定内賃金(労働者)

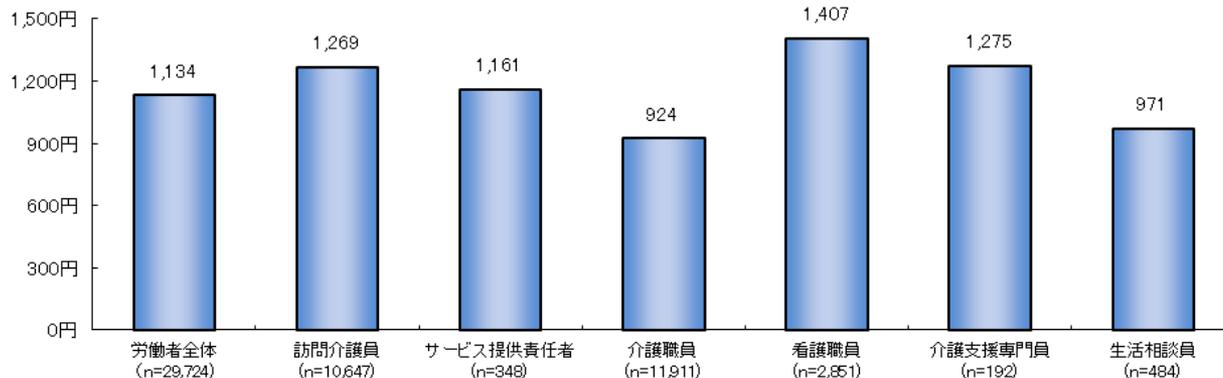
<月給の者>



<日給の者>



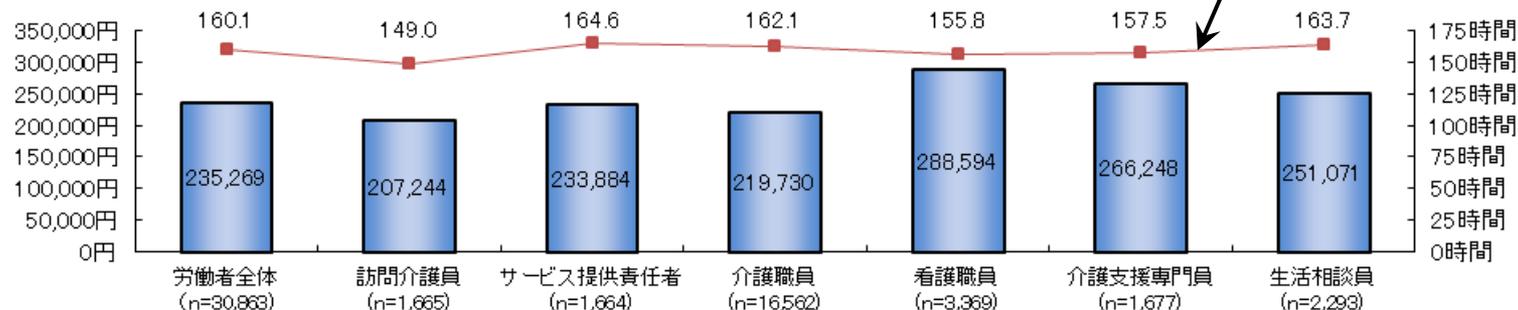
<時間給の者>



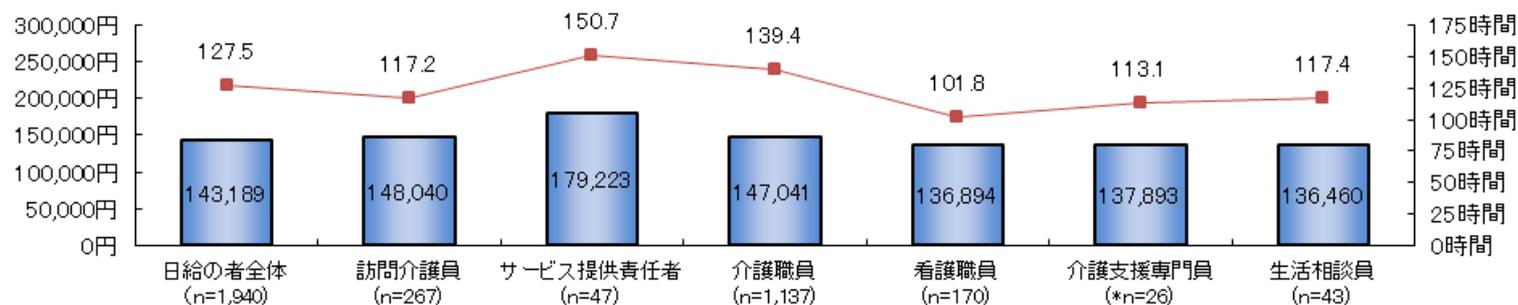
(5) 実賃金(労働者)

平均労働時間

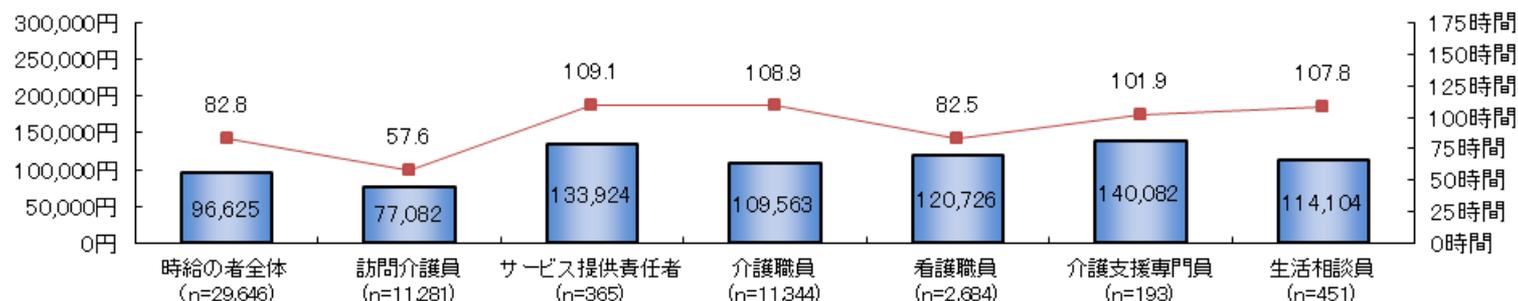
<月給の者>



<日給の者>

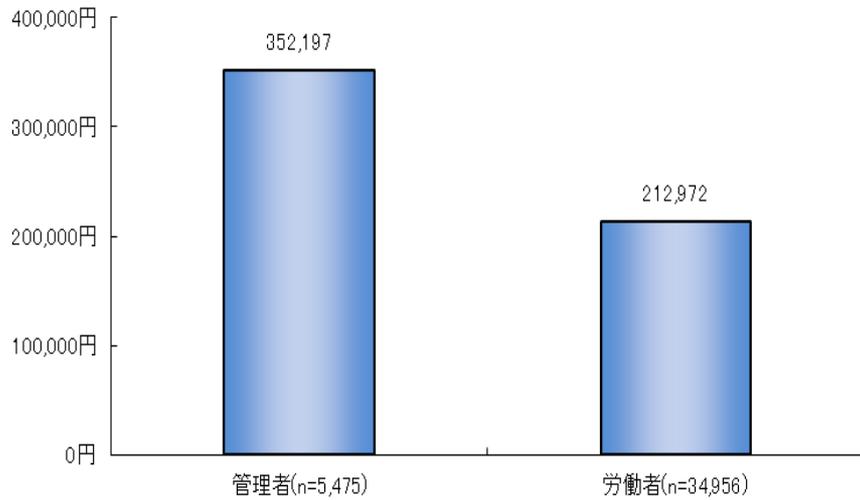


<時間給の者>

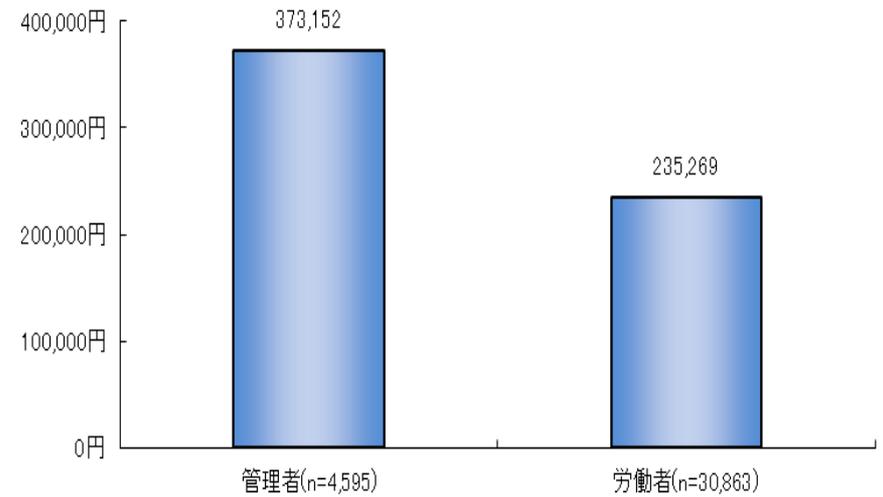


(6) 賃金(管理者と労働者の比較)

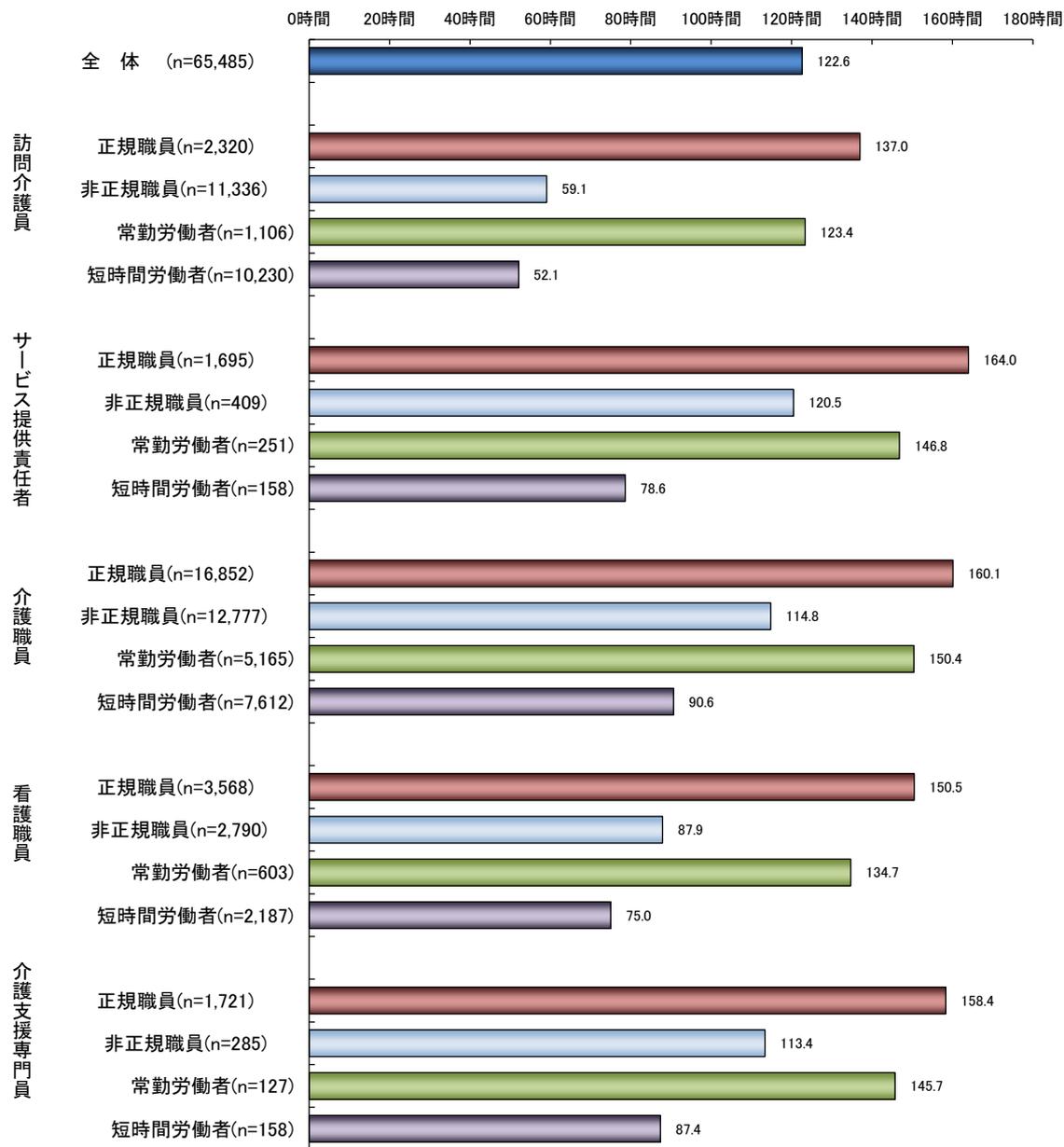
＜月給の者＞の所定内賃金



＜月給の者＞の実賃金



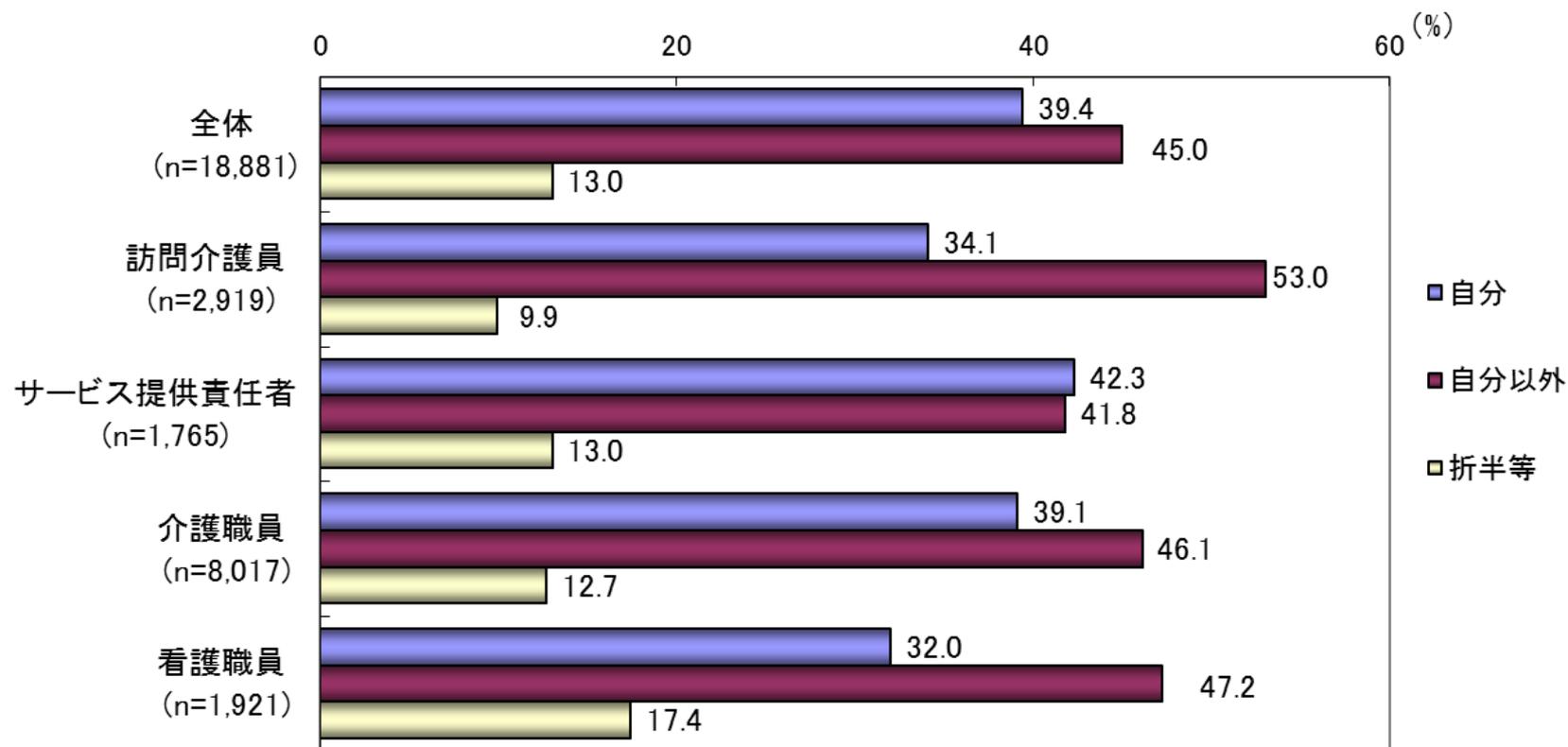
3 1ヵ月の労働時間数(労働者)



以下の図表は調査事業所の介護労働者(18,881人)の意識調査結果です。

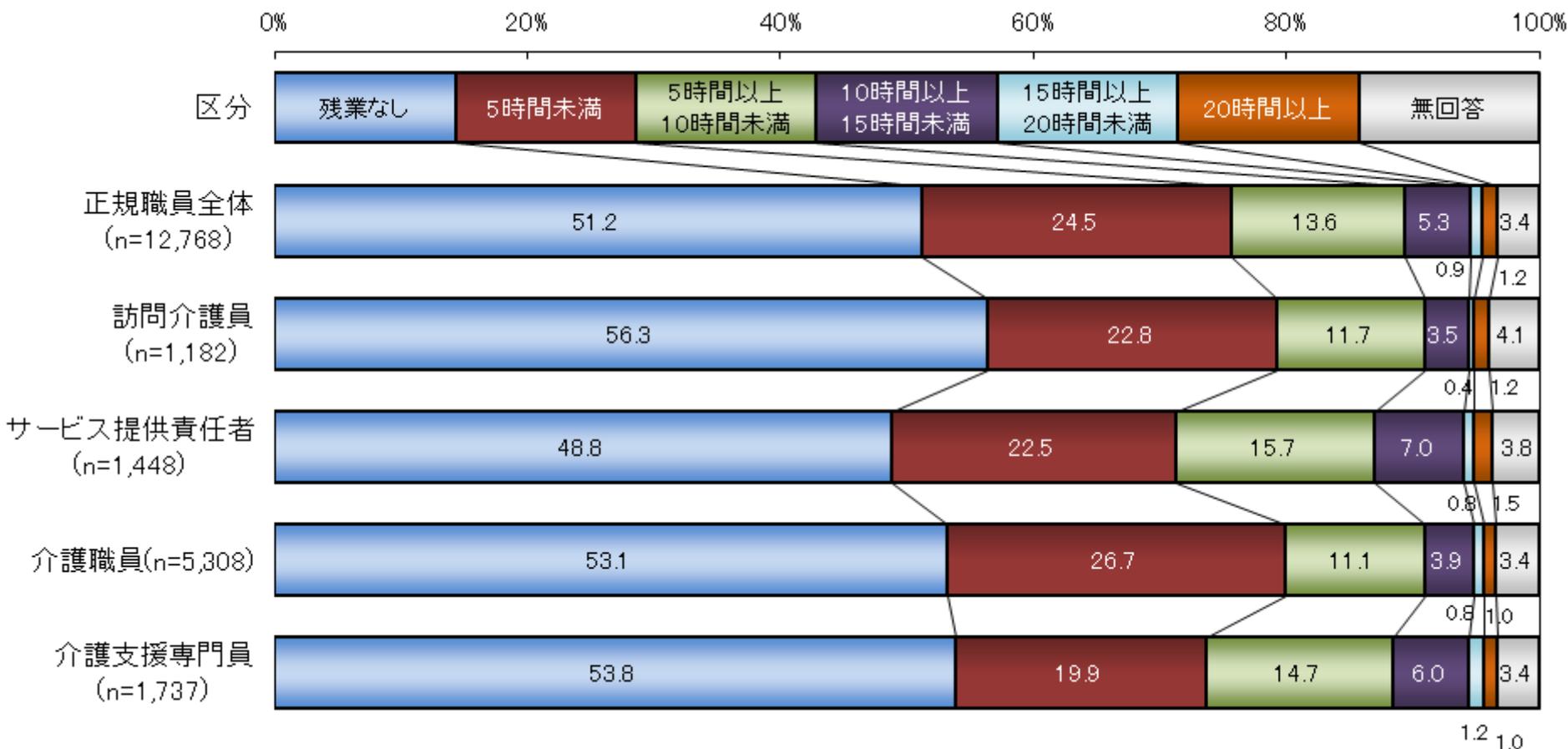
＜平成25年度介護労働者の就業実態と就業意識調査＞

1 生計維持者の割合（労働者回答） 主たる生計維持者「自分」は約4割



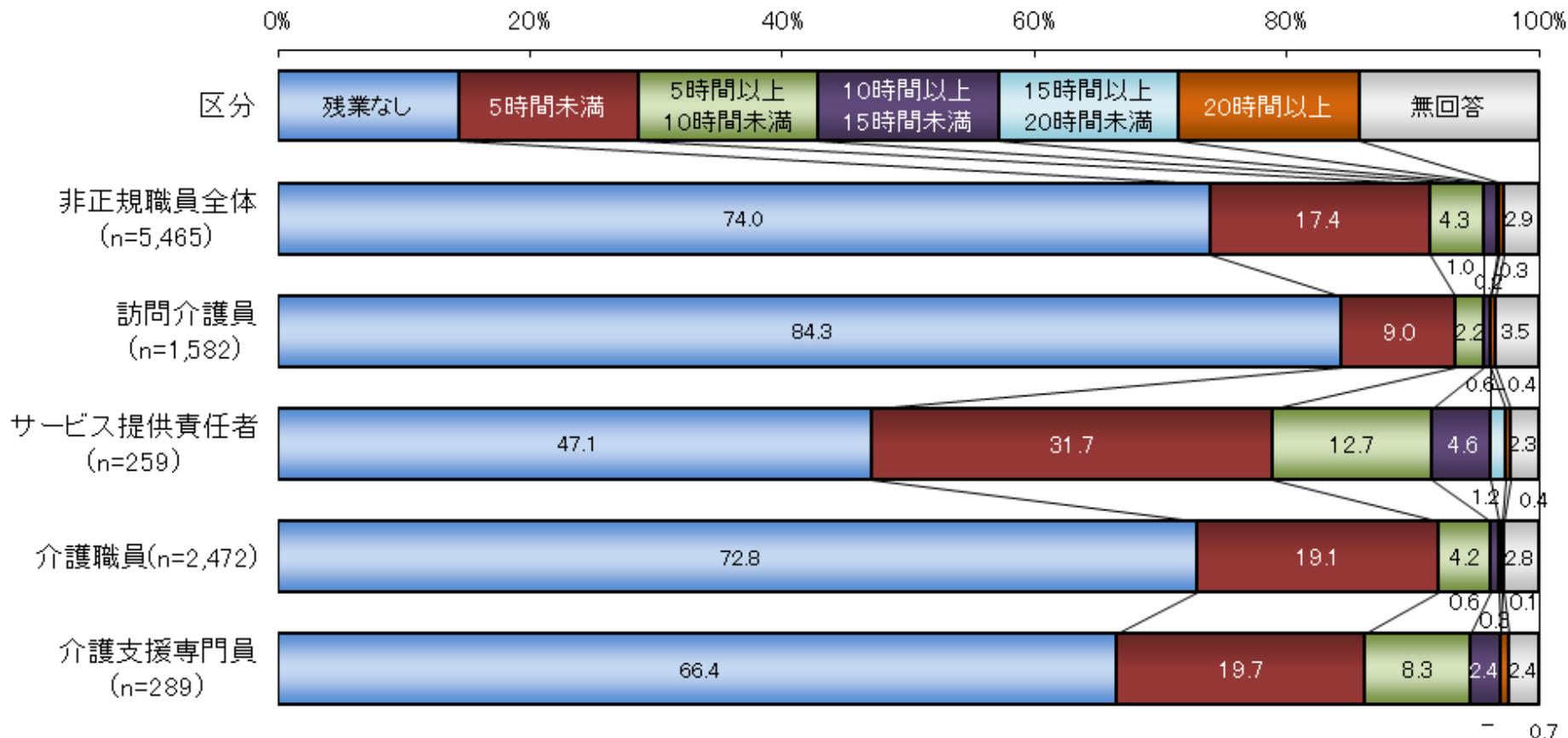
2 1週間残業時間(正規職員)(労働者回答)

残業無しは約49~56%



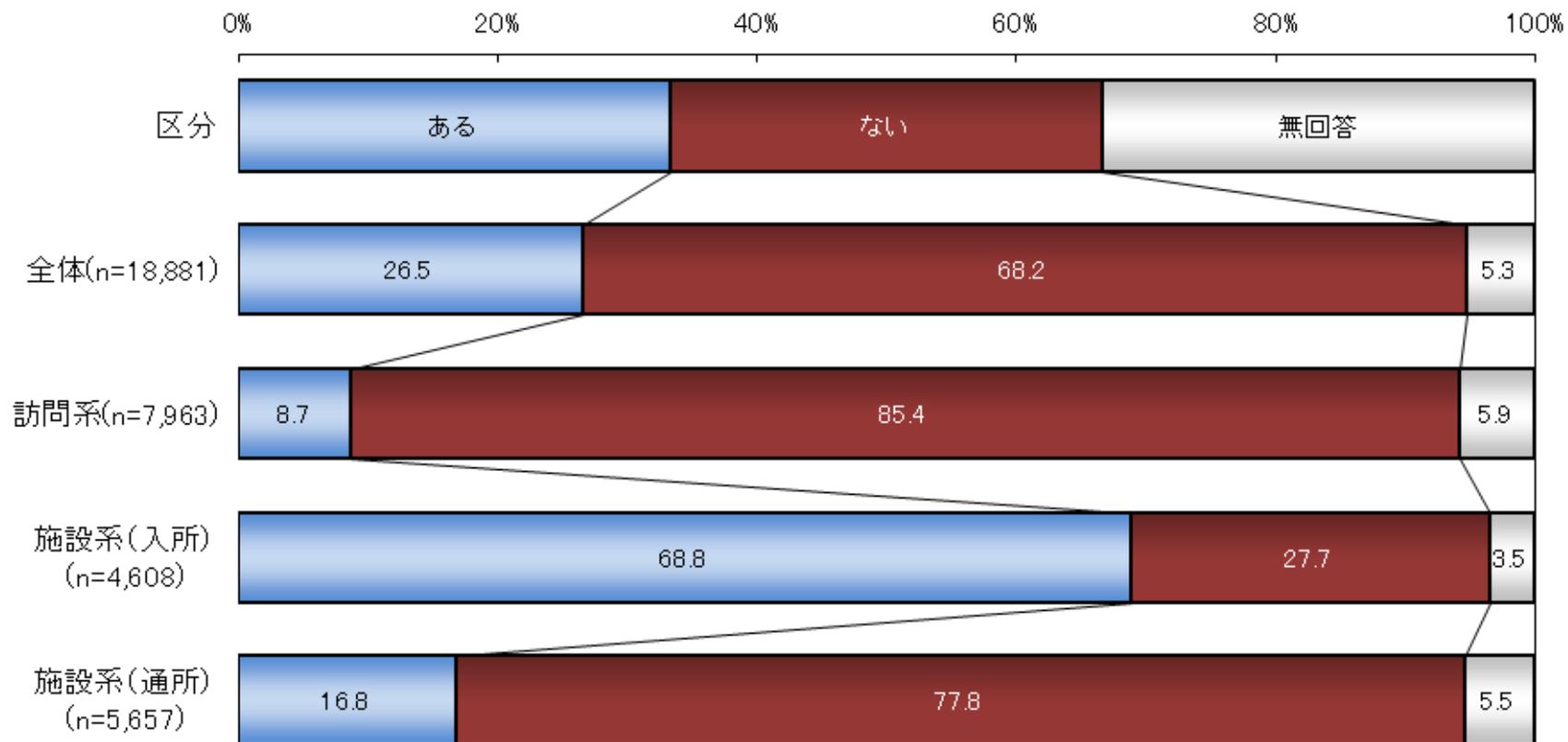
3 1週間残業時間(非正規職員)(労働者回答)

訪問介護員は約8割が残業無し



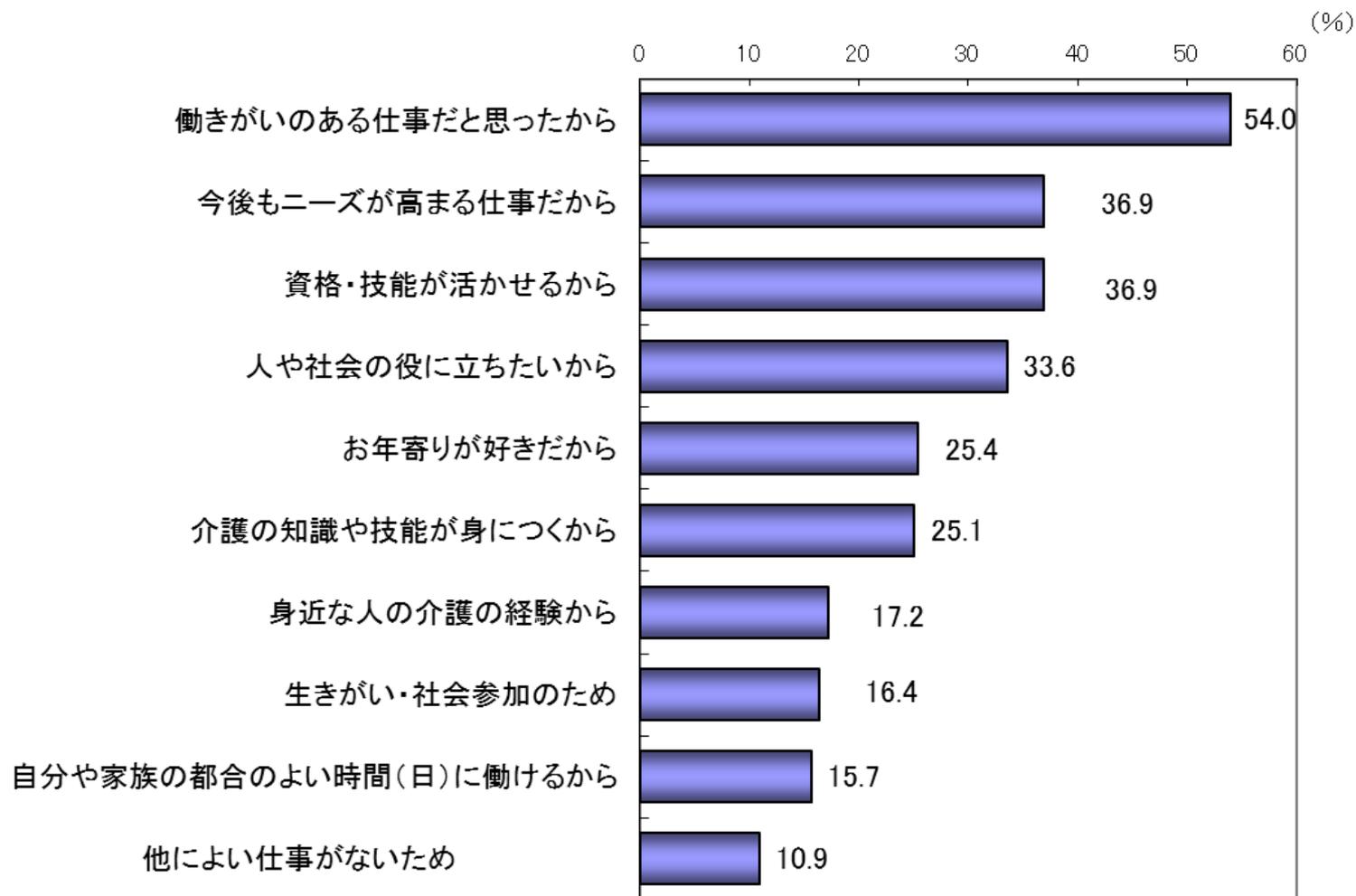
4 深夜勤務の有無（労働者回答）

施設系（入所型）は約7割が夜勤あり

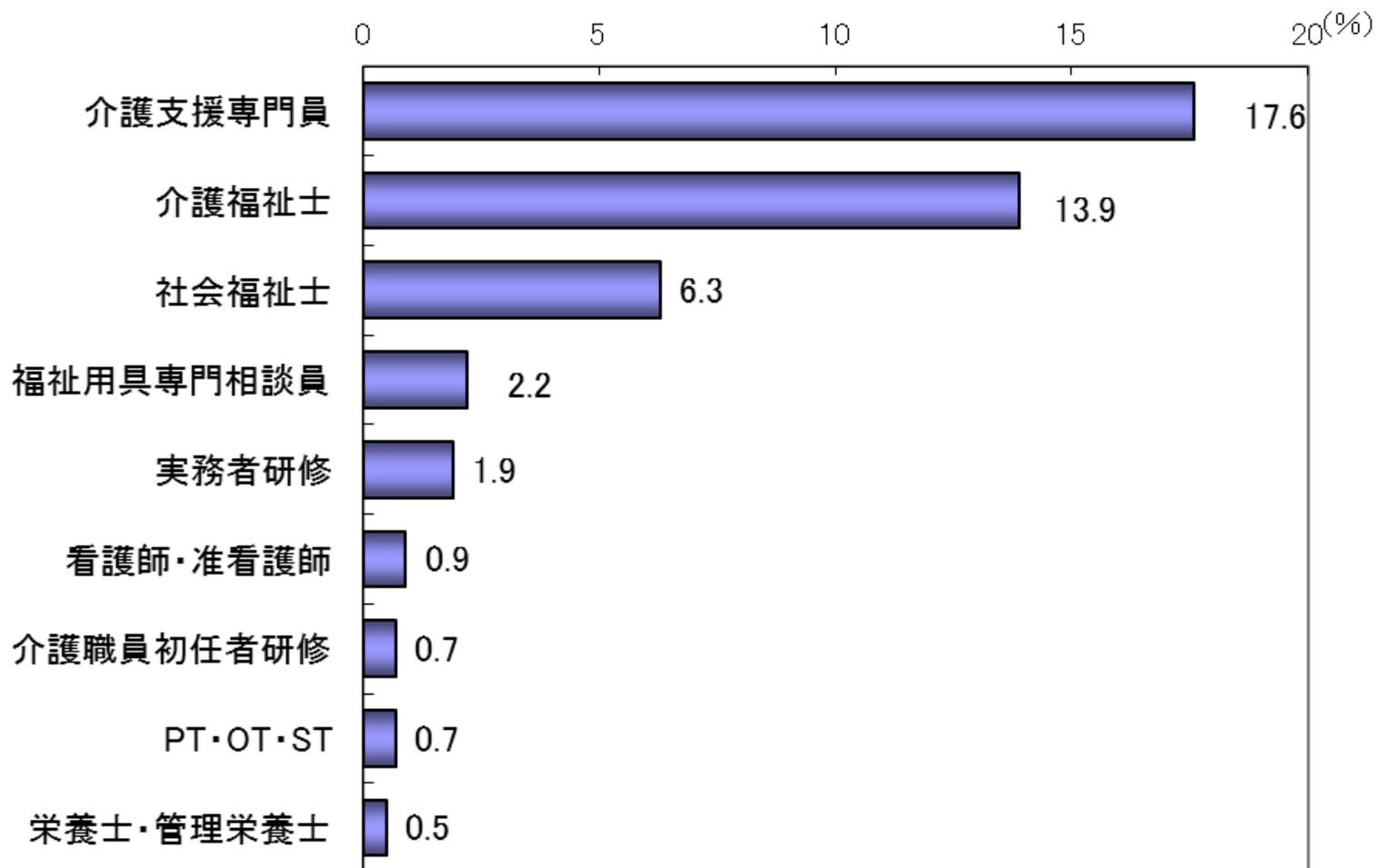


5 現在の仕事を選んだ理由 (労働者回答)

「働きがいのある仕事」が54.0%



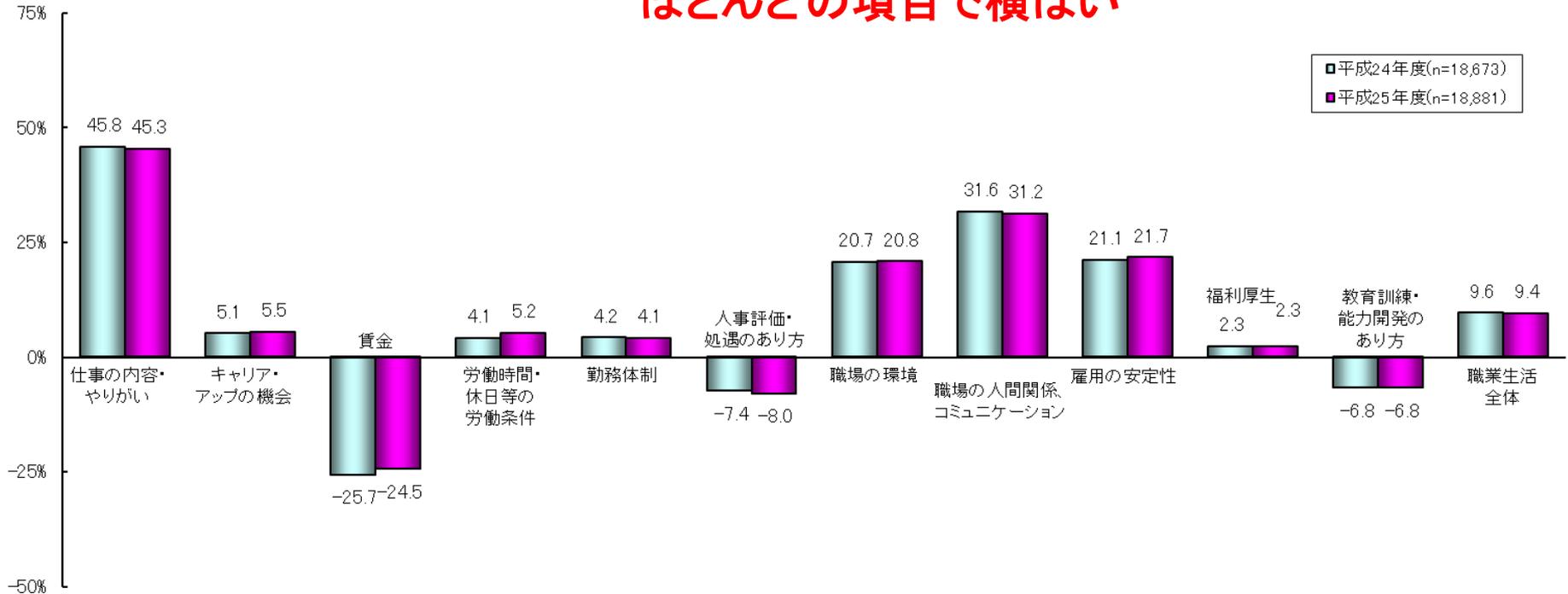
6 取りたい資格 (労働者回答) 「介護支援専門員」が17.6%



7 仕事の満足度 D.I. (労働者回答)

(24年度調査差と比較して)

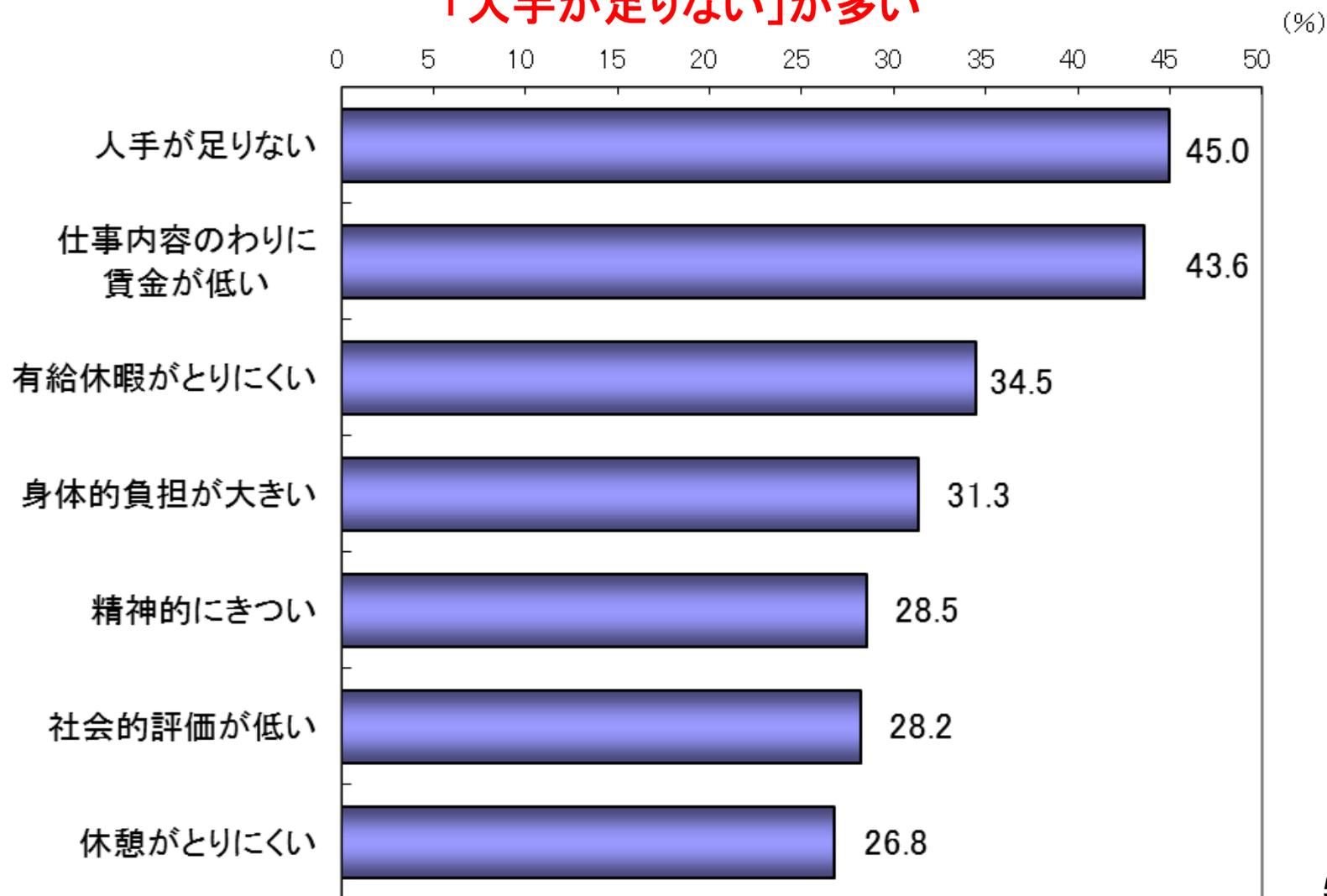
ほとんどの項目で横ばい



(注)満足度のD.I.=(満足の割合+やや満足の割合)-(やや不満足割合+不満足割合)。

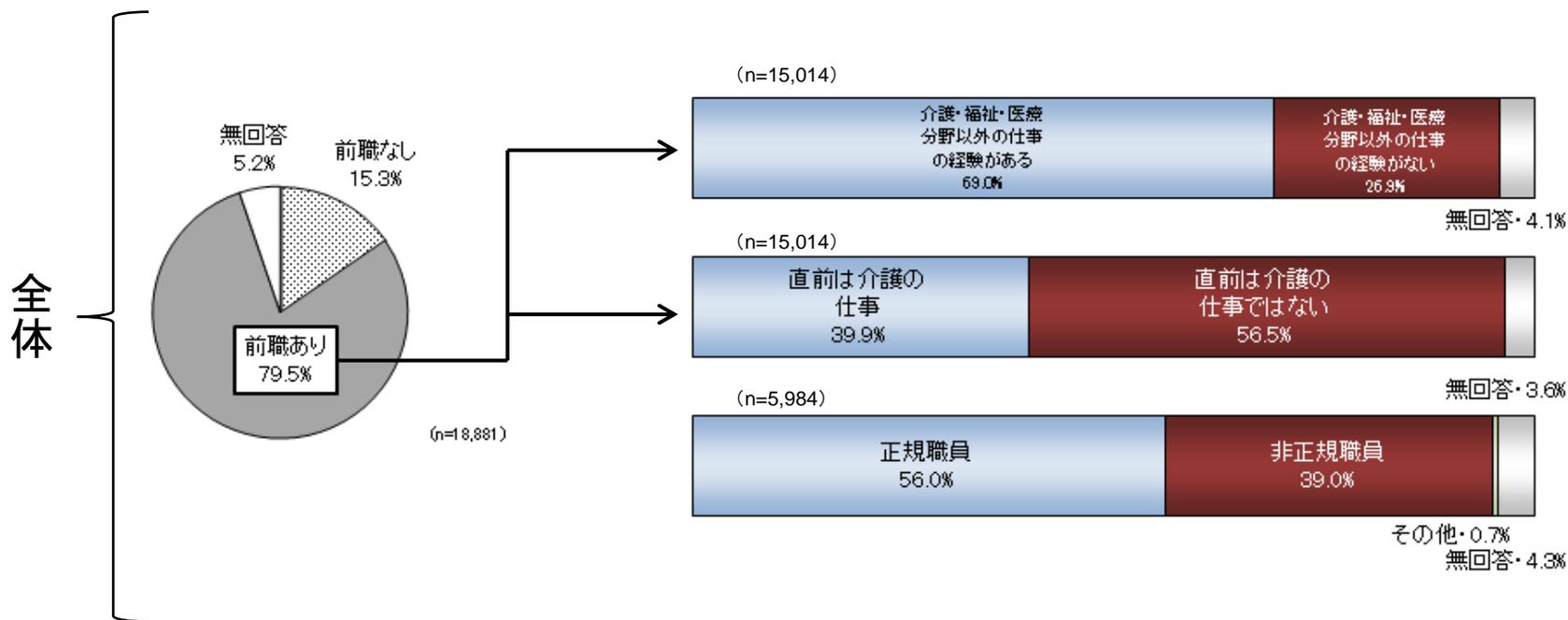
8 労働条件等の不満（労働者回答）

「人手が足りない」が多い



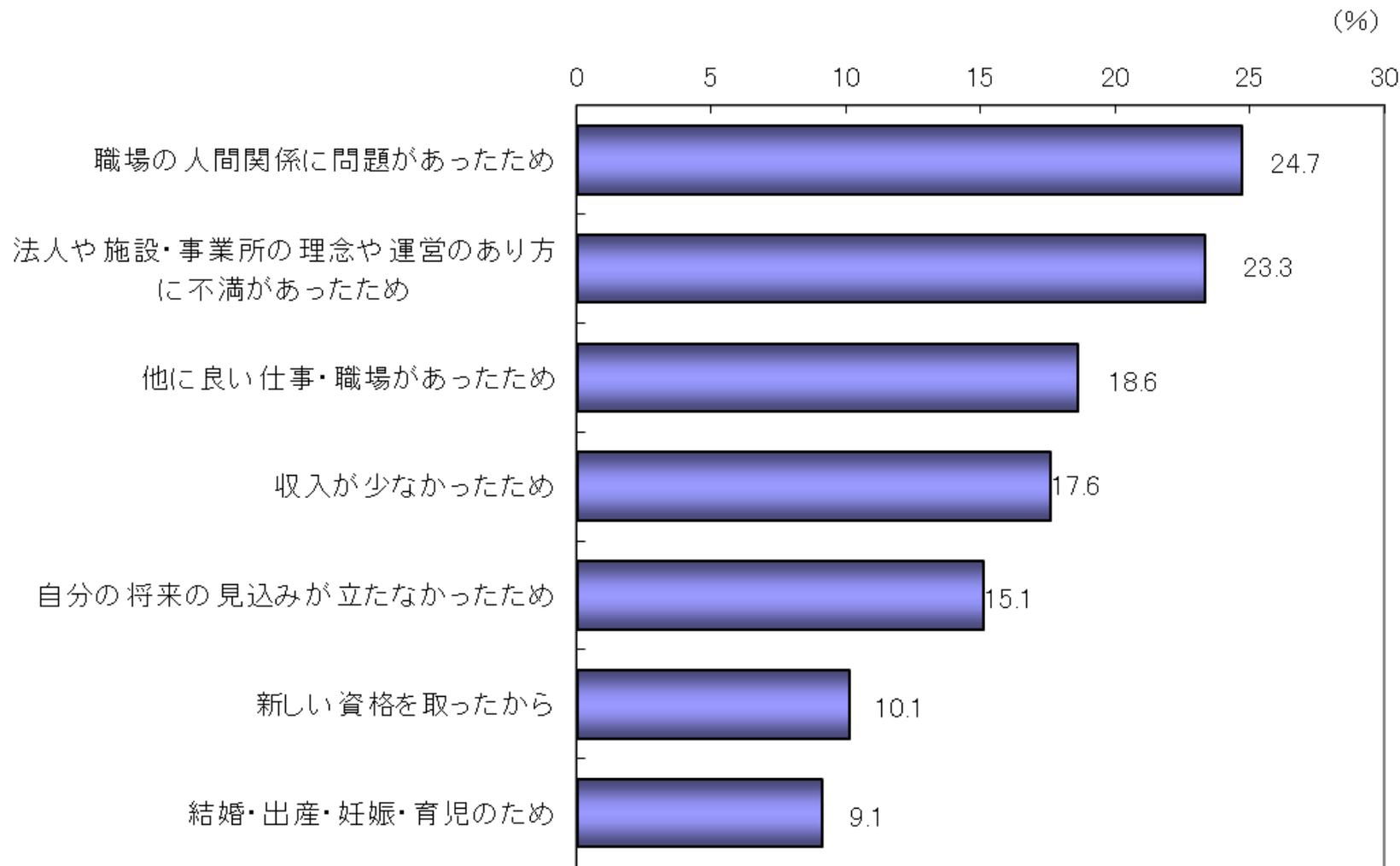
9 前職のある人の状況（労働者回答）

前職のある人のうち約4割は「直前は介護の仕事」



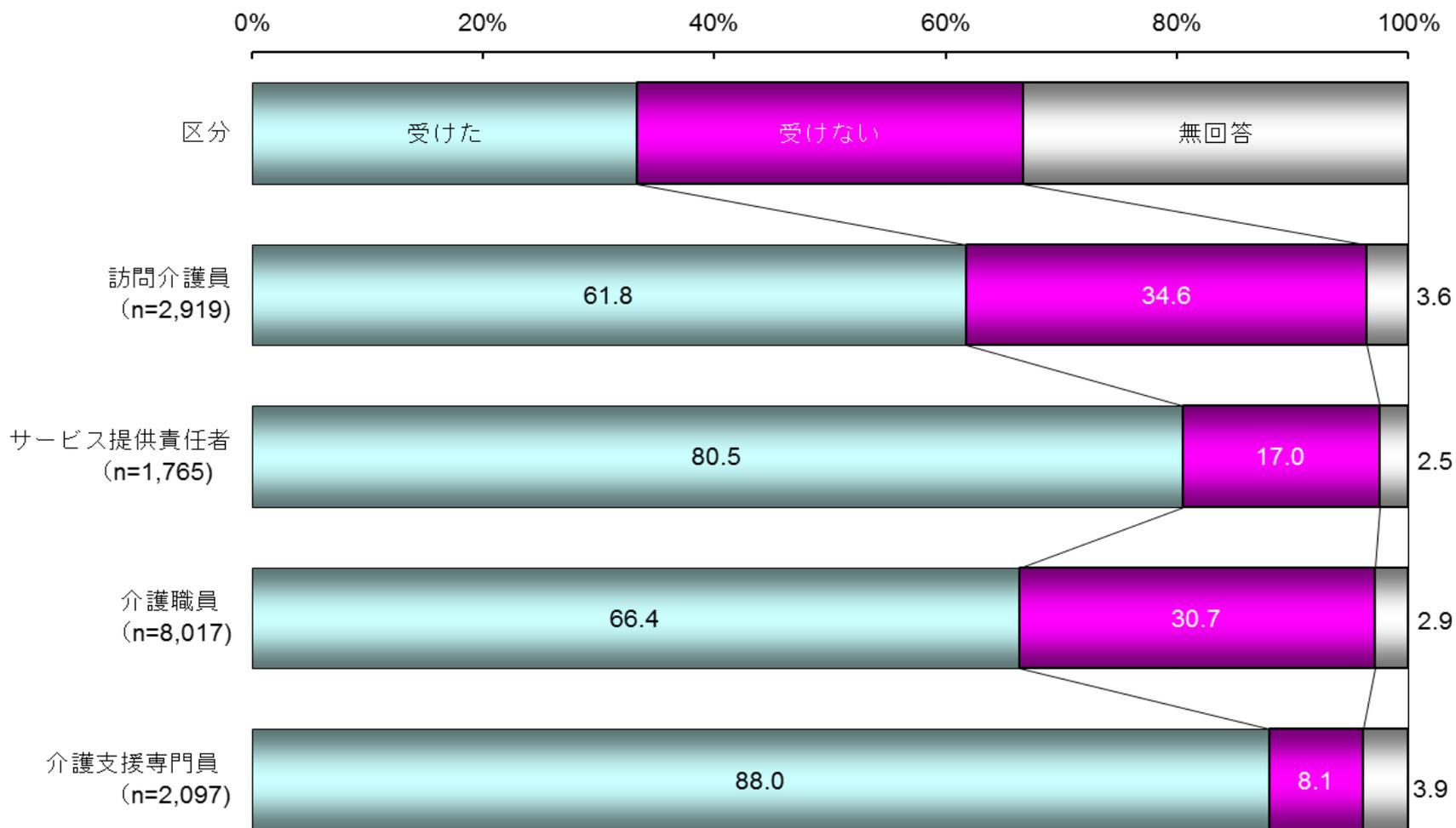
10 直前の介護の仕事をやめた理由 (労働者回答)

「職場の人間関係に問題があったため」が多い

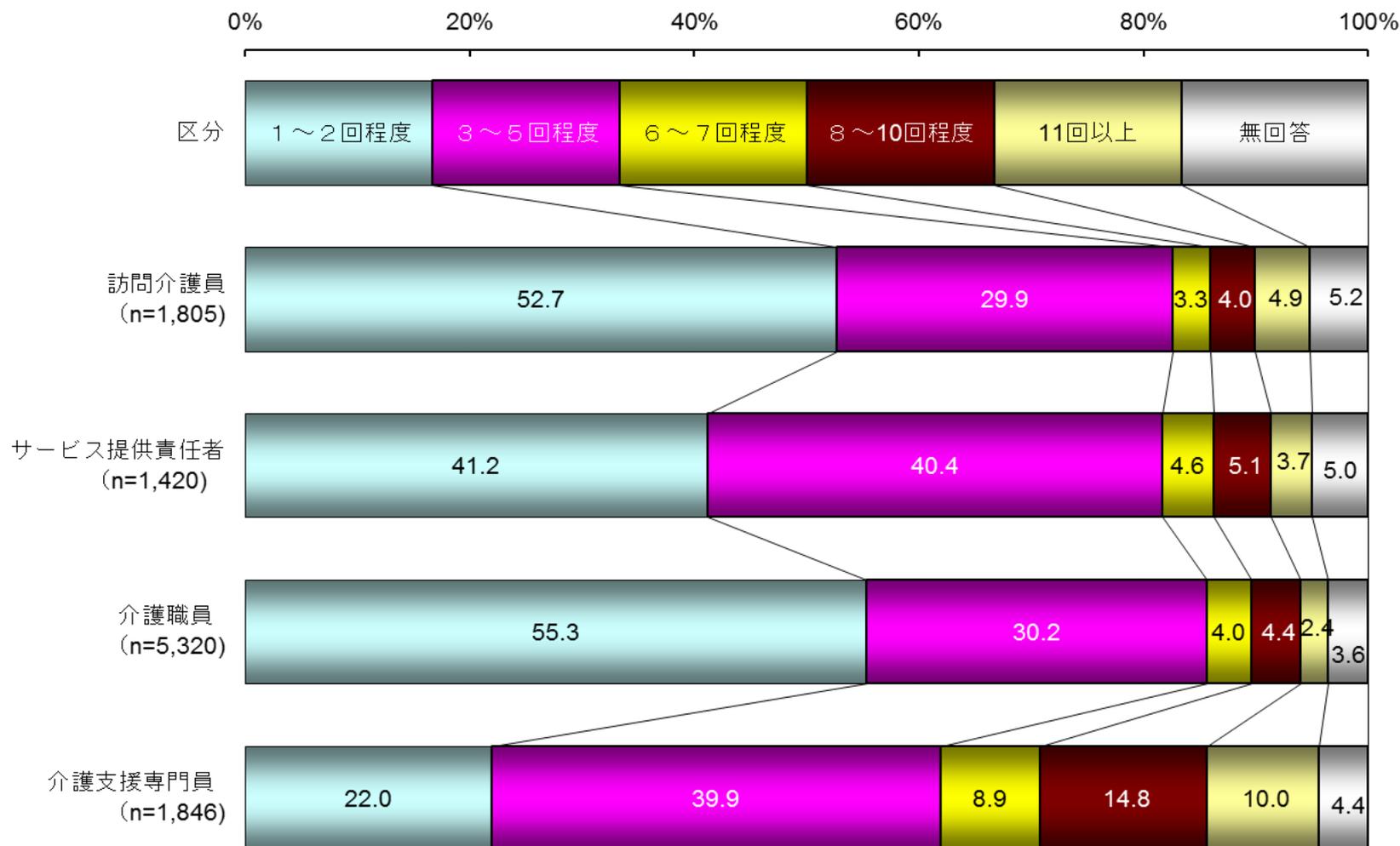


11 過去の1年間の研修受講有無（労働者回答）

介護支援専門員は約9割が研修を受けた



12 過去の1年間の研修受講回数（労働者回答）



13 働く上での悩み、不安、不満の解消「役立つと思う」 取組み (労働者回答) **健康診断や研修の実施が高い** (%)

